

# 消 防 年 報

平 成 2 9 年 版

小 千 谷 市 消 防 本 部

## はじめに

小千谷地域の消防組織については、昭和54年4月1日に小千谷市及び川口町の1市1町で小千谷市川口町衛生消防組合として発足し、昭和63年4月1日山古志村の加入により小千谷地域広域事務組合の「小千谷地域消防本部・消防署」として広域消防に取り組んできました。

その後、平成17年に山古志村、平成22年に川口町が長岡市へ合併し、平成22年3月30日をもって小千谷地域広域事務組合は解散となり、31日から小千谷市が事務を引き継ぐとともに長岡市川口地域（旧川口町）の消防事務を受託し、「小千谷市消防本部・消防署」として現在に至っています。

この消防年報は、消防本部管内の消防概況及び平成29年中における消防業務に関する諸業務について収録することにより、消防行政を推進する資料として活用するとともに、広く一般に紹介し、消防行政に対する理解を深めていただくために作成したものです。

本書により消防の現状を御理解いただくとともに、今後とも一層の御支援と御協力を賜れば幸いに存じます。

なお、火災・救急・気象などについては、平成29年1月から12月までの1年間の統計であります。予算、施設及び人員等は会計年度、消防現勢については平成30年4月1日現在としました。

# 目 次

## 総務関係

1	小千谷市消防の沿革	1
2	小千谷市消防本部の管轄区域の位置・地勢	5
3	管轄区域の情勢	
(1)	人口・世帯数	6
(2)	面積・広ぼう	6
(3)	市街地・準市街地等の状況	6
(4)	消防職員及びポンプ車の人口・世帯に対する割合	7
4	消防庁舎の現況	7
5	小千谷市消防本部・署の機構	8
6	歴代消防長・署長	
(1)	消防長	9
(2)	署長	10
7	階級別消防職員状況	11
8	階級別消防職員年齢表	11
9	消防力の整備指針と現況	12
10	消防予算	
(1)	一般会計に対する割合	13
(2)	人口・世帯に対する割合	13
(3)	平成30年度予算状況	14
(4)	一般会計との比・人口世帯との比	14
11	消防財産	15
12	消防通信施設	
(1)	通信指令施設	16
(2)	無線設備	17
(3)	非常用通信設備	21
(4)	119回線による火災・救急等受信回数	22
13	気象観測	
(1)	気象に関する警報・注意報等の受信状況一覧	23
(2)	気象統計	24

## 予防関係

1	防火対象物の現況、防火管理者選任状況	29
---	--------------------	----

2	建築同意事務処理状況	
(1)	過去5年間の処理状況	3 1
(2)	月別処理状況	3 1
(3)	用途地域別・構造等別	3 1
(4)	用途別・工事別	3 2
3	中高層建築物の現況	3 3
4	危険物製造所等の地区別施設数及び現年度指定数量別施設数	3 4
5	危険物製造所等の年間事務処理状況	3 5
6	試験・測定資器材	3 6
7	火災概要表	3 7
8	過去5年間の火災発生状況	4 0
9	過去5年間の月別火災発生状況	4 0

## 警防関係

1	火災・風水害等出動状況	4 1
2	消防水利	4 2
3	消防資器材装備状況	4 3
4	水防資材備蓄状況	4 3
5	消防車両一覧	4 4

## 救急救助関係

### 救急関係

1	事故種別出場状況	4 5
2	事故種別出場比率	4 6
3	地区別出場状況	4 7
4	時間別出場状況	4 8
5	曜日別出場状況	4 9
6	月別出場状況	5 0
7	現場到着所要時間別出場件数の状況	5 1
8	事故種別搬送人員収容所要時間状況	5 2
9	年齢別・程度別・事故種別搬送人員数	5 3
10	過去5年間の事故種別出場状況	5 4
11	過去10年間の出場件数の推移	5 5
12	搬送人員別医療機関問合せ回数	5 5
13	転送回数別搬送人員	5 5
14	転送理由別件数	5 5
15	事故種別収容医療機関状況	5 6

1 6	署所別出場状況	5 7
1 7	覚知別出場状況	5 7
1 8	搬送傷病者居住地状況	5 7
1 9	発生場所別搬送人員数	5 7
2 0	応急処置等実施状況	5 8
2 1	救急資器材	5 9
2 2	訓練用資器材	5 9

#### 救助関係

2 3	事故種別、発生場所別救助出動状況	6 0
2 4	事故種別、発生場所別救助活動状況	6 0
2 5	事故種別、発生場所別救助人員状況	6 0
2 6	救助資機材	6 1

#### 消防団関係

1	消防団組織図	6 3
2	歴代消防団長	6 4
3	消防団の編成	6 5
4	消防団員の数	6 5
5	消防団員の階級別報酬	6 5
6	消防団員の費用弁償	6 5
7	消防車両・小型動力ポンプ配置一覧	6 6
8	消防団無線設備	6 7
9	消防器具置場等施設の数	6 9
1 0	平成 2 9 年度中の主な工事等の状況	6 9

#### 協力団体

1	小千谷地域防火管理協会	7 1
2	新潟県危険物安全協会小千谷地区支会	7 2
3	小千谷市幼少年防火委員会	7 3
4	小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会	7 5

# 總務關係

# 1 小千谷市消防の沿革

年	月	記	事
昭和	24年	8月	小千谷町役場職員による常備消防隊発足
	26年	1月	本町・町役場に隣接し消防庁舎完成
		10月	専任職員 7 名による常備消防本部を設立
	29年	3月	小千谷町、城川村、千田村の合併により小千谷市制施行
	32年	10月	消防無線が初めて導入される
	34年	8月	小千谷市消防本部・消防署の設立 ( 1 6 名 )
	35年	6月	危険物安全協会北魚沼地区支会発足
	36年	5月	第 1 2 回新潟県消防大会開催
	40年	7月	小千谷市防火管理協会発足
		10月	既存庁舎が手狭となり、市民体育館下に仮移転する
	41年	7月	専用車による本格的な救急業務を開始
	44年	7月	総員 3 6 名となり、一応の増員計画を終了する
		11月	化学車配備
	45年	10月	第 2 回全国消防操法大会に小千谷市消防団が、「小型ポンプの部」に出場
	47年	3月	城内 1 丁目に消防庁舎完成
	49年	9月	2 B 型救急車配備、救急車 2 台となり救急体制が充実する
		10月	2 4 m 級はしご車配備
	50年	4月	職員が 4 名増員され、定員 4 0 名となる
	52年	11月	救助工作車配備
	53年	11月	通信指令装置導入
	54年	4月	消防業務が小千谷市川口町衛生消防組合として広域化され新体制で発足 ( 定員 5 2 名 )
	55年	4月	川口出張所開設 ( 定員 1 1 名 )
	56年	4月	消防長が専任制となる
		10月	小千谷地域少年消防クラブ運営指導協議会発足
		12月	水槽付消防ポンプ自動車 ( 3 , 0 0 0 ) 配備
	57年	2月	小千谷市消防団が日本消防協会より「纏」を授賞
		3月	高速自動車国道関越自動車道 ( 長岡インター ~ 越後川口インター間 ) 供用開始
		4月	高速救急隊設置により 4 名増員となる
		7月	小千谷地域少年婦人防火委員会発足
		12月	高速自動車国道関越自動車道 ( 長岡インター ~ 小出インター間 ) 供用開始
	58年	8月	第 3 4 回新潟県消防大会開催 ( 会場 小千谷小学校 )
	59年	8月	2 B 型救急車 ( 4 W D ) 導入 ( 日本赤十字社寄贈 )

年・月	記 事
59年 9月	第1回消防フェスティバル開催
60年 11月	小千谷地域防火管理協会発足20周年記念、防火講演会の開催(サンプラザ)
62年 2月	化学消防ポンプ自動車 型更新
10月	小千谷市川口町衛生消防組合消防庁舎、訓練塔を新築移転
昭和	第3回全国婦人消防操法大会において、「芋坂・時之島婦人消防隊」が優勝する
	63年 4月
11月	山古志出張所開設(職員9名)
	平成 元年 4月
2年 10月	第12回全国消防操法大会に小千谷市消防団が「小型ポンプの部」に出場する
4年 4月	職員2名増員され67名となる
10月	第13回全国消防操法大会に小千谷市消防団が「ポンプ車の部」に出場し、新潟県初の優良賞を受賞する
5年 3月	救助工作車 型(伸縮式照明装置付)更新
4月	職員2名増員され69名となる
6年 4月	職員2名増員され71名となる
12月	川口出張所消防ポンプ自動車CD- 型更新
7年 10月	第11回全国婦人消防操法大会において「上ノ山婦人消防隊」が優良賞を受賞する
11月	小千谷地域防火管理協会設立30周年記念、防火講演会の開催(市民会館)
8年 3月	37m級はしご車更新
9月	水槽付消防ポンプ自動車 型導入(日本損害保険協会寄贈)
11月	高規格救急車配備
12月	蒲原沢土石流災害新潟県応援派遣隊、第1次隊及び第5次隊として、それぞれ5名を派遣
9年 7月	山古志出張所救急車更新(日本赤十字社寄贈)
10月	消防ポンプ自動車CD- 型更新
10年 9月	小千谷市総合防災訓練実施
11年 7月	川口出張所高規格救急車配備
12年 8月	2B型救急車(4WD)導入(日本赤十字社寄贈)
14年 3月	川口出張所訓練塔更新
4月	新潟県消防防災航空隊へ1名派遣(2ヵ年間)
6月	信濃川・魚野川水防演習参加(高梨地先)
15年 2月	消防本部融雪施設(さく井)工事

年・月	記 事
平成 15年 3月	消防緊急通信指令装置導入
9月	新潟県・小千谷市合同総合防災訓練実施
11月	高規格救急車(救急1号車)更新 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練参加(新潟市)
12月	地域省エネルギー普及促進事業による消防庁舎空調・照明工事
平成 16年 7月	7.13水害が発生し、新潟県広域応援隊として、救助隊(ボート隊延べ16名)を中之島町へ、救急隊(延べ9名)を見附市及び三条市へ派遣 管内に7.16水害が発生
8月	指令広報車(指令5号車)更新
10月	23日川口町を震源とする「新潟県中越大震災」が発生、新潟県広域応援隊及び緊急消防援助隊を受援
平成 17年 4月	山古志村が長岡市への合併に伴い組合を離脱、山古志出張所及び備品等を移管し職員8名が長岡市へ移籍(定員63名)
11月	携帯119番直接受信整備工事
平成 18年 2月	小千谷市消防団に司令車配備(日本消防協会寄贈)
6月	水槽付消防用自動二輪車(ミストドラゴン)2台配備(日本機械工業(株)寄贈)
11月	川口出張所訓練塔災害復旧工事
平成 19年 1月	消防庁舎車庫増築工事
2月	消防ポンプ自動車(災害対応型)配備
7月	新潟県中越沖地震発生、新潟県広域応援隊として消防隊(延べ25名)及び救急隊(延べ6名)を柏崎市へ派遣
9月	資機材運搬車(指令2号車)更新
平成 20年 9月	消防庁舎アスベスト除去工事
11月	本署救急車(救急2号車)更新(日本赤十字社寄贈)
平成 21年 2月	化学消防ポンプ自動車(化学1号車)更新
平成 22年 3月	川口町と長岡市の合併に伴い、小千谷地域広域事務組合を解散 小千谷市消防本部・消防署に組織及び名称変更 長岡市川口地域の消防事務を受託
9月	消防緊急通信指令装置改修工事
12月	救助工作車 型更新
平成 23年 3月	11日宮城県沖を震源とする「東北地方太平洋沖地震」が発生 緊急消防援助隊として消火部隊(延べ55名)及び後方支援部隊(延べ20名)を宮城県石巻市へ派遣

年・月	記 事
平成 23年 7月	新潟・福島豪雨が発生し、新潟県広域応援隊として救助隊（ボート隊延べ5名）を三条市へ派遣 小千谷市豪雨災害対策本部設置
9月	消防庁舎照明設備改修工事（LED照明入替）
平成 24年 1月	小千谷市豪雪災害対策本部設置
2月	高規格救急車（川口救急1号車）更新
4月	新潟県消防防災航空隊へ1名派遣（3ヵ年間）
5月	南魚沼市トンネル事故が発生し、新潟県広域応援隊として救助隊（延べ15名）を南魚沼市へ派遣
9月	小千谷市総合防災訓練実施 位置情報通知システム（統合型）設置
12月	消防ポンプ自動車（川口ポンプ1号車）更新 本部消雪井戸改修工事
平成 25年 1月	小千谷市豪雪警戒本部設置
2月	小千谷市豪雪災害対策本部設置
6月	消防庁舎空調メンテナンス工事
12月	川口出張所浴室等改修工事
平成 26年 3月	消防救急デジタル無線設備設置
4月	消防救急デジタル無線運用開始
7月	第65回新潟県消防大会開催（小千谷大会）
10月	高規格救急車（小千谷救急2号車）更新
平成 27年 7月	川口出張所指令広報車更新
9月	関東東北豪雨が発生し、緊急消防援助隊として消火部隊5名を茨城県常総市へ派遣 気象観測装置更新（元中子）
10月	川口出張所ロータリー除雪機更新
11月	塩谷気象観測装置を新潟大学から譲受
12月	消防ポンプ自動車（小千谷ポンプ1号車）更新
平成 28年 7月	消防庁舎南面外壁タイル改修工事 消防庁舎高圧受電設備改修工事
8月	多目的車（指令1号車）更新 防火指導車（指令3号車）更新
12月	糸魚川大規模火災が発生し、新潟県広域応援隊として消火隊（延べ10名）を糸魚川市へ派遣
平成 29年 1月	特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（タンク1号車）更新
7月	小千谷市豪雨災害対策本部設置
9月	消防庁舎東面外壁タイル改修工事

## 2 小千谷市消防本部の管轄区域の位置・地勢

当消防本部は、新潟県の中央部やや南に位置し、管轄区域は、小千谷市及び長岡市川口地域（旧川口町：長岡市から消防事務を受託）です。



	方位	経緯度
東経	極東	138度 54分
	極西	138度 44分
北緯	極北	37度 23分
	極南	37度 12分

### 3 管轄区域の情勢

#### (1) 人口・世帯数

平成30.4.1 現在

地域区分	平成27年10月国勢調査		平成30年3月末住民基本台帳	
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数
小千谷市	36,498	12,165	35,995	12,744
長岡市川口地域	4,477	1,384	4,457	1,521
合 計	40,975	13,549	40,452	14,265

地域区分	平成30年3月末現在人口		
	人 口	日本人	外国人
小千谷市	35,995	35,812	183
長岡市川口地域	4,457	4,436	21
合 計	40,452	40,248	204

#### (2) 面積・広ぼう

平成30.4.1 現在

地域区分	面積 (km <sup>2</sup> )	広 ば う (km)		周囲 (km)	標 高 (m)	
		東 西	南 北		最 高	最 低
小千谷市	155.19	17.21	20.01	86.1	581.0	27
長岡市川口地域	50.03	4.10	15.00	49.0	433.5	50
合 計	205.22	-	-	-	-	-

#### (3) 市街地・準市街地等の状況

地域区分	市 街 地 域 数	準 市 街 地 地 域 数			その他の 地域数 (有・無)
		5,000人以上 10,000人未満	3,000人以上 5,000人未満	1,000人以上 3,000人未満	
小千谷市	1	1	1	3	有
長岡市川口地域	-	-	-	2	有
合 計	1	1	1	5	

平成27年度消防力の整備指針に基づく市町村消防施設整備計画実態調査の数値

(4) 消防職員及びポンプ車の人口・世帯に対する割合

平成30.4.1 現在

区 分	消防職員 1 名当り			消防ポンプ自動車 1 台当り		
	人 口	世 帯 数	面 積	人 口	世 帯 数	面 積
	人	世帯	km <sup>2</sup>	人	世帯	km <sup>2</sup>
	6 6 3	2 3 4	3 . 4	8 , 0 9 0	2 , 8 5 3	4 1 . 0
職員・ポンプ車数	6 1 名			5 台		

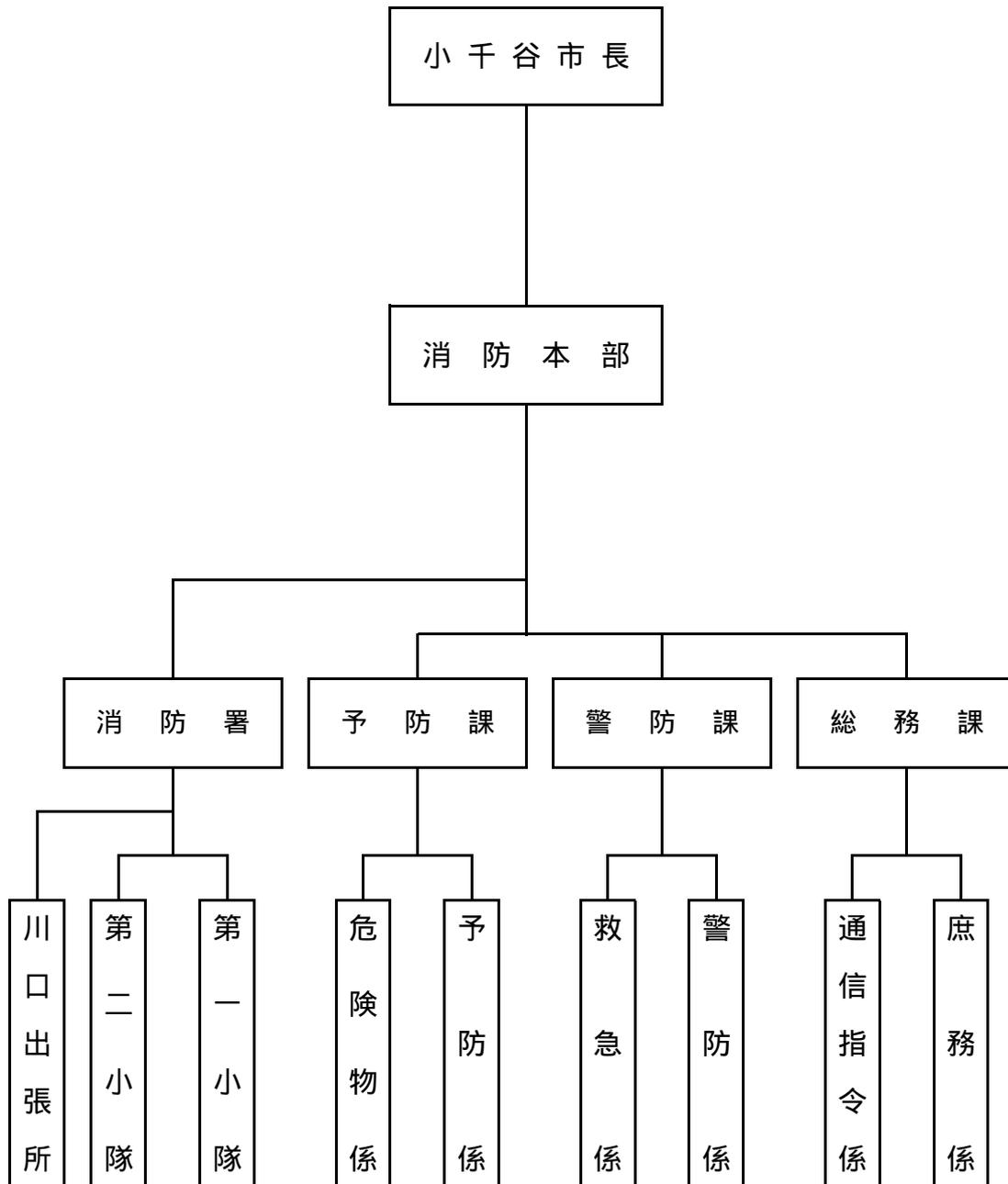
(小数点以下は四捨五入)

4 消防庁舎の現況

区 分	所 在 地	構 造	設置年月日	面 積 (m <sup>2</sup> )		
				敷 地	建 築	延
消防本部 消 防 署	小千谷市城内 3丁目1番9号	鉄筋 3階建 コンクリート	昭和62年 10月 1日	3,701.21	739.09	1,609.11
川口出張所 (長岡市貸与)	長岡市 川口牛ヶ島 160番地3	鉄筋 2階建 コンクリート	昭和55年 4月 1日	662.00	96.00	194.76

## 5 小千谷市消防本部・署の機構

平成30.4.1 現在



## 6 歴代消防長・署長

### (1) 消防長

平成30.4.1 現在

区分	氏名	在任期間	備考
消 防 長	初位下 松五郎	S 29. 3. 10 ~ S 30. 4. 12	市長兼務
	2 位下 松五郎	S 30. 5. 1 ~ S 34. 4. 20	〃
	3 佐藤 武	S 34. 5. 1 ~ S 38. 4. 29	〃
	4 佐藤 武	S 38. 4. 30 ~ S 42. 4. 29	〃
	5 佐藤 武	S 42. 4. 30 ~ S 46. 4. 29	〃
	6 佐藤 武	S 46. 4. 30 ~ S 50. 4. 29	〃
	7 星野 行男	S 50. 4. 30 ~ S 54. 4. 29	〃
	8 星野 行男	S 54. 4. 30 ~ S 56. 3. 31	〃
	9 若井 保	S 56. 4. 1 ~ S 60. 3. 31	
	10 石坂 和男	S 60. 4. 1 ~ S 61. 12. 31	
	11 風間 久司	S 62. 1. 1 ~ S 62. 4. 30	(消防長心得)
	12 羽鳥 昌治	S 62. 5. 1 ~ H 2. 3. 31	
	13 山口 恒	H 2. 4. 1 ~ H 4. 3. 31	
	14 風間 久司	H 4. 4. 1 ~ H 11. 3. 31	
	15 本田 晃一	H 11. 4. 1 ~ H 13. 3. 31	
	16 金箱 貞夫	H 13. 4. 1 ~ H 15. 3. 31	
	17 中村 繁一	H 15. 4. 1 ~ H 17. 3. 31	
	18 横山 貴吉	H 17. 4. 1 ~ H 20. 3. 31	
	19 風間 隆一	H 20. 4. 1 ~ H 21. 3. 31	
	20 瀬沼 賢一	H 21. 4. 1 ~ H 24. 3. 31	
	21 大塚 幸夫	H 24. 4. 1 ~ H 26. 3. 31	
	22 安藤 高志	H 26. 4. 1 ~ H 28. 3. 31	
	23 瀬沼 務	H 28. 4. 1 ~ H 29. 3. 31	
	24 和田 孝史	H 29. 4. 1 ~ H 30. 3. 31	
	25 渡邊 秀樹	H 30. 4. 1 ~ 現在に至る	

## (2) 署長

平成30.4.1 現在

区分	氏名	在任期間	備考	
署長	初	山崎留吉	S 34. 8. 1 ~ S 35. 3. 31	
	2	平沢恭栄	S 35. 4. 1 ~ S 40. 9. 30	
	3	和田耕作	S 40. 10. 1 ~ S 48. 3. 31	
	4	岡 忠	S 48. 4. 1 ~ S 51. 3. 31	
	5	和田明	S 51. 4. 1 ~ S 56. 3. 31	
	6	若井保	S 56. 4. 1 ~ S 58. 6. 30	
	7	風間久司	S 58. 7. 1 ~ H 2. 3. 31	
	8	本田晃一	H 2. 4. 1 ~ H 11. 3. 31	
	9	西脇英郎	H 11. 4. 1 ~ H 16. 3. 31	
	10	篠田敏治	H 16. 4. 1 ~ H 17. 3. 31	
	11	風間隆一	H 17. 4. 1 ~ H 20. 3. 31	
	12	安藤高志	H 20. 4. 1 ~ H 26. 3. 31	
	13	瀬沼務	H 26. 4. 1 ~ H 28. 3. 31	
	14	和田孝史	H 28. 4. 1 ~ H 29. 3. 31	
	15	渡邊秀樹	H 29. 4. 1 ~ H 30. 3. 31	
	16	内山康司	H 30. 4. 1 ~ 現在に至る	

## 7 階級別消防職員状況

平成30.4.1 現在  
(条例定数 63 人)

階級 区分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副長	消防士	合計
消防本部(署)	1	6	25	7	3	8	50
川口出張所		1	4	3	1	2	11
合計	1	7	29	10	4	10	61

## 8 階級別消防職員年齢表

平成30.4.1 現在

階級 区分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副長	消防士	合計
20才以下						5	5
21～25才						4	4
26～30才					4	1	5
31～35才				6			6
36～40才			6	4			10
41～45才			6				6
46～50才			12				12
51～55才		3	1				4
56才以上	1	4	4				9
計	1	7	29	10	4	10	61
平均年齢	56.0	56.4	46.3	34.1	28.5	21.9	40.5

(少数点第2位以下四捨五入)

## 9 消防力の整備指針と現況

平成30.4.1 現在

		国 基準台数 (台)	市町村 基準台数 (台)	現有台数 (台)	市町村 基準人員 (人)	現有人員 (人)
消防ポンプ自動車 (第5条)	消防隊員 (第27条)	2	1	1	30	17
消防ポンプ自動車 (第5条 第5項)		-	1	1	12	10
はしご自動車 (第7条)		1	1	1	消防ポン プ自動車	-
化学消防車 (第8条)		2	2	2	乗換運用	-
特殊車等 (第16条)		-	3	3		-
救急自動車 (第13条)	救急隊員 (第28条)	3	3	2	9	9
救助工作車 (第14条)	救助隊員 (第29条)	1	1	1	15	8
指揮車 (第15条)	指揮隊員 (第30条)	1	1	1	9	4
非常用消防自動車等 (第17条)		-	2	2	-	-
非常用救急自動車 (第17条)		1	1	1	-	-
通信員 (第31条)		-	-	-	6	6
予防要員 (第32条)		-	-	-	7	1
庶務の処理等の人員 (第34条)		-	-	-	6	6
合計		11	16	15	94	61

## 10 消防予算

### (1) 一般会計に対する割合

(単位：千円)

年度別	一般会計 決算額	消防費 決算額	比率 %	消 防 費 内 訳				
				常備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費	防災費
23	18,135,073	938,660 (99,655)	5.1	558,096 (99,655)	55,991	30,655	2,435	291,482
24	17,605,212	943,976 (105,509)	5.4	578,809 (105,509)	56,061	27,255	653	281,197
25	18,301,291	1,235,925 (99,005)	6.8	1,066,591 (99,005)	55,426	29,247	776	83,884
26	17,620,359	707,919 (105,717)	4.0	551,725 (105,717)	60,379	25,864	459	69,489
27	16,546,661	749,388 (112,258)	4.5	569,946 (112,258)	54,341	41,899	373	82,827
28	18,391,929	766,889 (121,556)	4.2	592,947 (121,556)	55,853	37,357	452	80,279

( )内の数値は長岡市からの委託費。

### (2) 人口・世帯に対する割合

年度別	消 防 費 決算額(千円)	人 口 に 対 す る 割 合		世 帯 に 対 す る 割 合	
		人口(人)	1人当り(円)	世帯数	1世帯当り(円)
23	839,005	39,085	21,466	12,630	66,430
24	838,467	38,544	21,754	12,679	66,130
25	1,136,920	38,131	29,816	12,596	90,260
26	602,202	37,836	15,916	12,691	47,451
27	637,130	37,471	17,003	12,750	49,971
28	645,333	36,957	17,462	12,743	50,642

長岡市からの委託費を除く。

(3) 平成30年度予算状況

(単位：千円)

市 区 分	消 防 費					
	合 計	常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費	防災費
小千谷市 (川口地域)	963,035	762,166 (125,225)	64,241	50,797	1,379	84,452

( )内の数値は、長岡市からの委託費。

(4) 一般会計との比 ・ 人口世帯との比

市 区 分	平成30年度当初予算			消防費予算額の 人口に対する割合		消防費予算額の 世帯に対する割合	
	一般会計 (千円)	消防費 (千円)	比率 (%)	人 口 (人)	1人当り (円)	世帯数	1世帯当り (円)
小千谷市	17,320,000	837,780	4.8	35,995	23,275	12,744	65,739

長岡市からの委託費を除く。

注 消防予算の表中、常備消防費、比率、人口、世帯に対する割合については、次のように表してあります。

- ・一般会計に対する消防費の比率は、少数点第2位以下四捨五入
- ・人口、世帯数に対する消防費の割合は、少数点以下四捨五入

# 1 1 消防財産

平成30.4.1 現在

区分	名 称	数 量	備 考
消 防 本 部 ・ 消 防 署	消防ポンプ自動車	3 台	
	梯子車	1 台	
	化学車	1 台	
	水槽付消防ポンプ自動車	1 台	
	救助工作車	1 台	
	高規格救急自動車	3 台	
	高度救命処置用機材	3 式	
	多目的車	1 台	
	資器材運搬車	1 台	
	防火指導車	1 台	
	消防広報車	1 台	
	指令広報車	1 台	
	水槽付消防用自動二輪車	2 台	
	救命ボート	1 隻	
	小型除雪機	1 台	
	消防救急デジタル無線装置	1 式	
	位置情報通知システム（統合型）	1 式	
	消防緊急通信指令システム	1 式	
	消防情報支援システム	1 式	
	気象観測装置	2 式	元中子、塩谷地内設置
雨量観測計（5台分）	1 式		
高度救命処置訓練人形	1 体		
消 防 団	消防ポンプ自動車	7 台	
	積載車	3 3台	
	司令車	1 台	
	指揮広報車	1 台	
	水出し操法用小型動力ポンプ	1 台	
	緊急時用飲料水精製装置	1 台	

1件100万円以上の物品及び車両

## 1 2 消防通信施設

### ( 1 ) 通信指令施設

平成30.4.1 現在

装 置 の 名 称	装 置 の 機 能		
		容 量	実 装
指 令 台 消防緊急通信指令システム 富 士 通	1 1 9 番 受 付 回 線	2 0	8
	指 令 回 線	1 5	2
	局 線 回 線	1 0	1
	専 用 回 線	1 0	4
	内 線 回 線	5	2
	自 動 順 次 指 令 装 置	1 0	5
	自 動 案 内 装 置 (テレフォンガイド)	災害出動に伴う内容を音声によって案内するサービス。  8 3 - 3 0 3 0	3 0
情 報 収 集 装 置	1 1 9 回線の着信応答時、録音開始時刻を記録するとともに通話音声を自動録音する。(デジタル録音媒体)  主録音装置 (1台) TAKACOM VR - 4 6 4		
非 常 用 指 令 設 備	指令電話装置の中枢機能障害時、指令台に代わって1 1 9 番の受信及び個別指令ができる機能を有する。		
位 置 情 報 通 知 シ ス テ ム	NTT固定電話・IP電話及び携帯電話等から1 1 9 番通報時の発信位置情報が通知され、位置を自動的に指令装置地図上に表示する。		
メ ー ル 1 1 9 通 報	事前に登録した聴覚障がい者より、携帯電話メール及びパソコンメールで1 1 9 番要請を専用のパソコンで受信する。		

(2) 無線設備  
デジタル無線（基地局・固定局）

平成30.4.1 現在

呼 出 名 称	出力(W)	配 置 場 所	備 考
おぢやしょうぼうほんぶ	10	消防本部・署	活動波1（市波） 活動波2（団波） 活動波3（救急波） 主運用波 統制波1
おぢやしょうぼうやまもとやま	1	山本山	統制波2 統制波3

アナログ無線（基地局）

平成30.4.1 現在

呼 出 名 称	出力(W)	配 置 場 所	備 考
おぢやしょうぼうほんぶ	10	消防本部・署	防災相互波

アナログ無線（移動局）

携 帯 無 線 機	5W	3台
-----------	----	----

デジタル無線陸上移動局

平成30.4.1 現在

呼 出 名 称	活動波 1	活動波 2	活動波 3	主 運 用 波	統制波			複 信	配 置 場 所	出力 (W)	製造年
					1	2	3				
お ぢ や た ん く	1								タ ン ク 車	10	H25
お ぢ や ぼ ん ぶ	1								ポ ン プ 1	10	H25
お ぢ や ぼ ん ぶ	2								ポ ン プ 2	10	H25
お ぢ や か が く	1								化 学 車	10	H25
お ぢ や き ゅ う じ ょ	1							○	救 助 工 作 車	10	H25
お ぢ や は し ご	1								梯 子 車	10	H25
お ぢ や き ゅ う き ゅ う	1							○	救 急 1	10	H25
お ぢ や き ゅ う き ゅ う	2							○	救 急 2	10	H25
お ぢ や し れ い	1								指 令 1	10	H25
お ぢ や し れ い	2								指 令 2	10	H25
お ぢ や し れ い	3								指 令 3	10	H25
お ぢ や し れ い	5							○	指 令 5	10	H25
お ぢ や た ん く	11								化 学 車 携 帯	5	H25
お ぢ や た ん く	12								筒 先 用 携 帯	5	H25
お ぢ や ぼ ん ぶ	11								ポ ン プ 1 携 帯	5	H25
お ぢ や ぼ ん ぶ	12								筒 先 用 携 帯	5	H25
お ぢ や ぼ ん ぶ	21								ポ ン プ 2 携 帯	5	H25
お ぢ や ぼ ん ぶ	22								筒 先 用 携 帯	5	H25
お ぢ や か が く	11								タ ン ク 車 用 携 帯	5	H25

呼 出 名 称	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波			複信	配 置 場 所	出力(W)	製造年
					1	2	3				
お ぢ や か が く 1 2									筒 先 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や き ゅ う じ ょ 1 1									救 助 工 作 車 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や は し ご 1 1									梯 子 車 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や き ゅ う き ゅ う 1 1									救 急 1 号 車 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や き ゅ う き ゅ う 2 1									救 急 2 号 車 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し れ い 1 0									署 長 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し れ い 1 1									副 署 長 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し れ い 1 2									予 防 課 長 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し れ い 1 3									総 務 課 長 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し れ い 1 4									小 隊 長 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し れ い 1 5									副 小 隊 長 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し れ い 1 6									消 防 業 務 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し れ い 1 7									消 防 業 務 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し れ い 1 8									消 防 業 務 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し れ い 1 9									消 防 業 務 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し れ い 2 0									消 防 業 務 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し れ い 2 1									緊 援 隊 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し れ い 2 2									緊 援 隊 用 携 帯	5	H 2 5
お ぢ や し き 1								○	現 場 指 揮 本 部	1 0	H 2 5
お ぢ や し き 2								○	現 場 指 揮 本 部	1 0	H 2 5
か わ ぐ ち し ょ う ぼ う 9 0 0									川 口 出 張 所 固 定 移 動 局	1 0	H 2 5

呼 出 名 称	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波			複信	配 置 場 所	出力(W)	製造年
					1	2	3				
かわぐちぼんぷ 1									川口ポンプ車	10	H25
かわぐちきゅうきゅう 1								○	川口救急車	10	H25
かわぐちしれい 1								○	川口指令車	10	H25
かわぐちぼんぷ 11									川口ポンプ車 用携帯	5	H25
かわぐちぼんぷ 12									筒先用携帯	5	H25
かわぐちきゅうきゅう 11									川口救急車用 携帯	5	H25
かわぐちしれい 11									出張所長用 携帯	5	H25
かわぐちしれい 12									川口指令車用 携帯	5	H25

車載無線機	10W	15台
現場指揮簡易基地局	10W	2台
固定移動局	10W	1台
携帯無線機	5W	30台

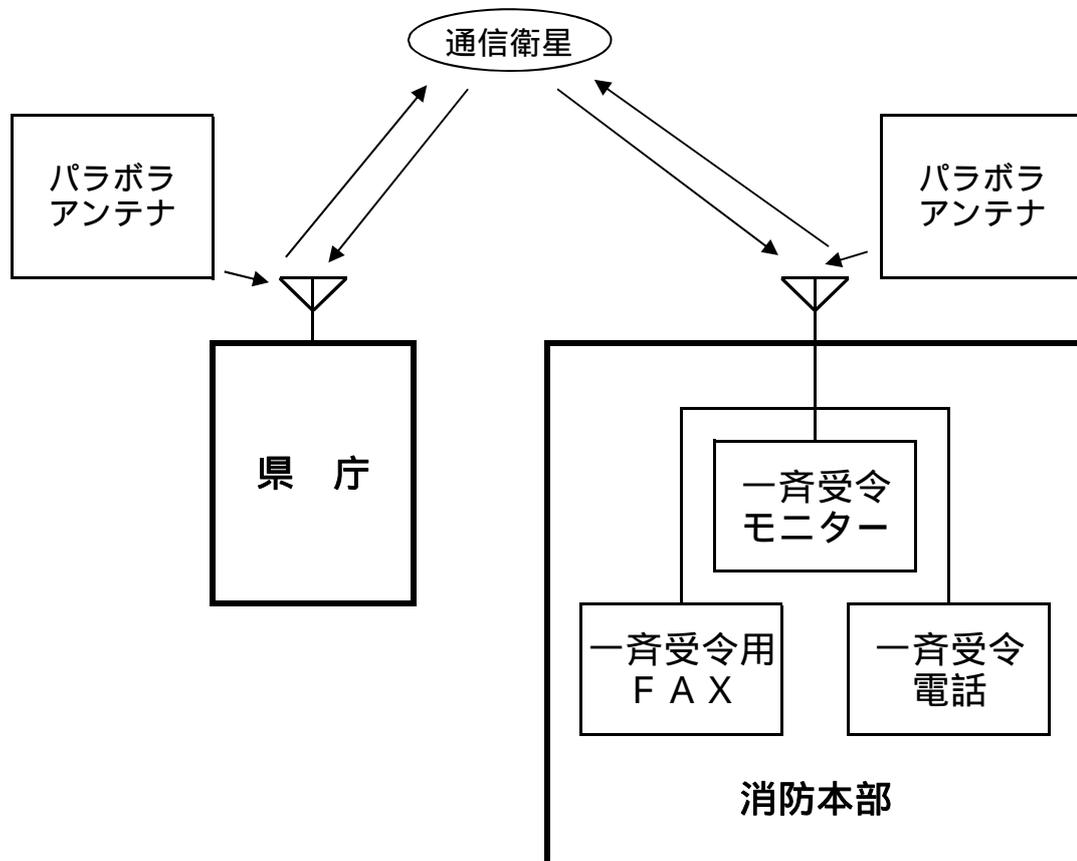
(3) 非常用通信設備

災害時優先電話 11回線

- ・ 固定電話回線 6回線
- ・ 携帯電話回線 5回線

防災行政無線 (V S A T) 3点セット

- ・ パラボラアンテナ
- ・ 一斉受令用FAX
- ・ 一斉受令電話



(4) 119回線による火災・救急等受信回数

119番専用回線受信状況(IP電話及びFAX含む。)

平成29.1.1~12.31

種別/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	2	6
救急	68	74	82	85	69	64	94	74	49	88	64	78	889
救助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の災害 (警戒含む)	1	0	0	1	0	0	6	1	0	0	2	2	13
いたずら・嘘	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
間違い	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	2	0	8
機器誤発報	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4	7
通報訓練	4	9	10	7	15	31	18	7	25	35	31	10	202
企業試験	4	9	9	11	5	7	10	5	8	9	11	10	98
無言電話	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
各種問合せ	1	1	1	5	2	0	2	0	1	1	4	2	20
その他	16	6	5	7	7	13	24	14	9	24	14	5	144
転送	火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救急	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	救助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	95	99	108	119	101	118	154	103	93	160	129	113	1,392

前年(前年比) 1,286(106)

携帯119番専用回線受信状況

種別/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	0	1	0	4	2	1	0	0	0	0	0	0	8
救急	17	20	27	20	30	23	38	39	31	27	31	30	333
救助	1	0	1	2	1	3	3	0	3	0	0	1	15
その他の災害 (警戒含む)	0	0	0	3	0	0	1	1	0	1	2	1	9
いたずら・嘘	0	2	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	10
間違い	0	4	4	2	0	1	0	2	0	0	1	5	19
機器誤発報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通報訓練	0	1	1	0	0	0	0	4	0	7	1	0	14
企業試験	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
無言電話	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
各種問合せ	1	2	1	4	2	0	1	4	3	1	1	5	25
その他	9	5	0	33	9	7	16	9	12	11	19	4	134
転送	火災	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	救急	5	1	2	1	2	5	1	1	2	3	3	27
	救助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の災害	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	35	37	37	69	48	41	64	60	54	49	60	49	603

前年(前年比) 579(24)

### 13 気象観測

(1) 気象に関する警報・注意報等の受信状況一覧(新潟地方気象台発表)

平成29.1.1～12.31

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警報	大雨												
	洪水						3	2		1			6
	暴風									1			
	暴風雪												
	大雪	2										1	3
合計	2						3	2		2		1	10

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
注意報	雷	11	9	15	10	5	6	10	13	7	2	10	11	109
	霜			8	16	2				1	8	2	37	
	低温		1				2		1				4	
	強風				1		1		1	2	1		6	
	乾燥		1	4	6	4							15	
	濃霧	4	5	6	12	3	3	3	2	6	8	7	7	66
	大雨													
	洪水					1	2	3	2		1	2		11
	大雪	4	5	2									5	16
	雪崩	2	1	6									6	15
	融雪		2		4								1	7
	着雪	4	6	2									5	17
	着氷													
	風雪													0
合計	25	30	43	49	15	14	16	19	15	13	27	37	303	

警報及び注意報の種別によっては、本市が内陸部に位置することから波浪及び高潮を省略しています。

## (2) 気象統計

## 月別気象観測統計

観測地：元中子 / 平成29.1.1～12.31

	気温( )			湿度(%)		風速(m/s)		気圧(hPa)		実効湿度(%)			雨量(mm)	
	平 均	最 高	最 低	平 均	最 低	平 均	最 高	現 地	海 面	平 均	最 高	最 低	総 量	日 最 高
1月	1.3	10.5	-4.7	94.3	53.1	2.6	9.3	1009.1	1017.0	94.2	96.4	91.9	349.5	45.5
2月	1.3	12.3	-4.1	91.4	44.8	2.8	9.6	1008.6	1016.4	91.6	94.4	89.1	238.5	43.0
3月	3.4	15.2	-3.1	89.5	33.3	2.4	6.0	1008.2	1016.0	89.4	94.3	86.3	177.0	46.0
4月	10.0	26.4	-0.7	79.4	21.4	3.2	9.7	1005.4	1013.0	80.7	88.7	68.7	89.0	18.0
5月	17.2	31.0	5.4	78.5	20.8	2.6	8.2	1004.8	1012.2	77.8	86.7	68.8	103.0	25.0
6月	18.9	32.3	9.0	84.4	34.3	2.2	7.9	1001.4	1008.7	83.1	86.4	77.3	72.0	17.0
7月	25.4	35.0	18.0	89.2	48.1	2.1	6.1	1001.3	1008.4	88.7	93.5	83.3	625.5	156.0
8月	25.5	35.8	17.2	89.7	46.2	2.0	6.2	999.5	1006.6	89.6	93.6	82.8	264.5	70.0
9月	20.5	31.0	10.6	88.1	38.5	2.3	7.2	1004.1	1011.4	88.1	92.1	85.1	113.5	41.5
10月	15.1	26.3	5.3	92.8	32.1	2.2	9.9	1011.1	1018.6	92.0	96.0	86.0	232.5	81.0
11月	7.0	20.7	-1.6	93.4	35.4	2.8	8.2	1011.0	1018.7	93.0	97.3	87.4	311.5	42.0
12月	2.3	13.7	-1.9	94.4	44.2	2.8	10.0	1009.8	1017.6	94.3	96.8	91.2	242.5	40.0

気象データは、元中子（旧北陸農業試験場）に設置してある自動気象観測装置から消防本部へデータ転送されている。

月別天候・雪量集計

観測地：消防本部 / 平成29.1.1～12.31

	天 候					雪 量 (cm)		
	快晴	晴れ	曇り	雨	雪	総降雪	最高降雪	最高積雪
1月		39	175	74	84	175	50	82
2月	3	44	126	65	98	115	17	86
3月	3	59	202	79	29	73	43	85
4月		117	189	54				
5月		159	170	43				
6月		87	218	55				
7月	5	109	183	75				
8月		98	232	42				
9月	7	127	169	57				
10月		62	199	111				
11月		86	138	121	15	15	15	15
12月		30	156	92	94	133	24	59
合 計	18	1,017	2,157	868	320			

天候観測は、2時間毎に観測。(1日12回)

天候の雪には、あられ・みぞれを含む。

雪量は、午前9時に観測。(1日1回)

## 降積雪量観測集計

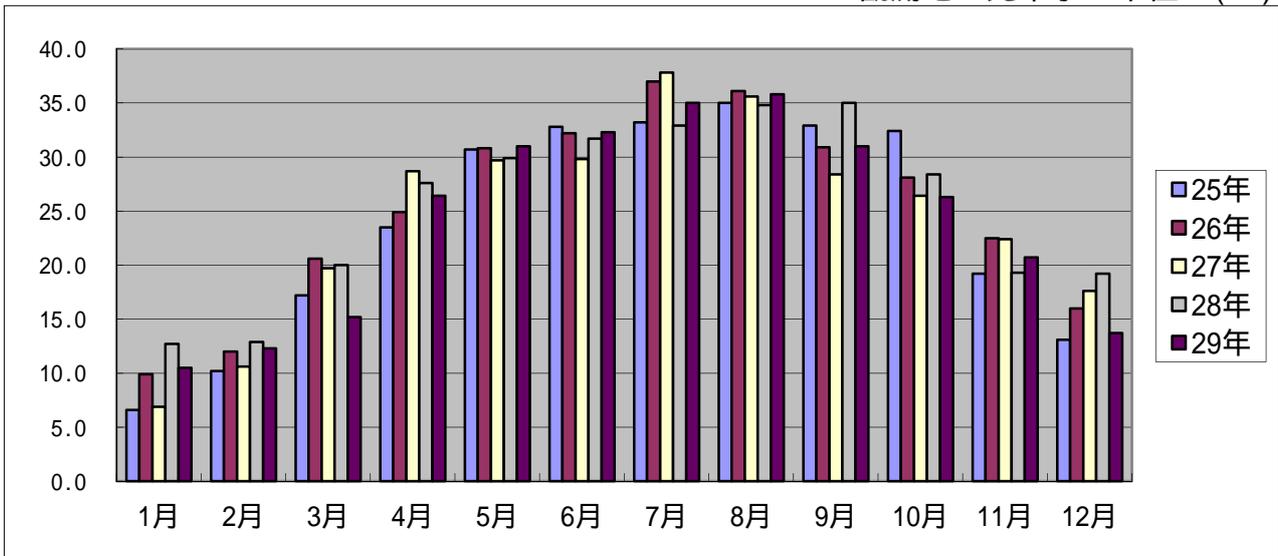
平成29年初雪～平成30年雪消

観測所名	降雪量 合計	最大 降雪量	最大 積雪量	根 雪			最大降雪量 全観測所 平均	最大積雪量 全観測所 平均	
				初日	終日	根雪期間			
県指定 観測所	元中子 1 (旧北陸農業試験場)		2月14日 230cm	12月12日	4月1日	111日	70cm 元中子及 び塩谷を除 く	273cm	
	池ヶ原 (池中新田)	1032cm	12月13日 1月30日 48cm	2月14日 311cm	12月12日	4月17日			127日
	塩谷地区 1		2月14日 339cm	11月20日	4月23日	133日			
東山小学校 2	906cm	2月13日 57cm	2月14日 270cm	12月12日	4月10日	120日			
川井 (本田)	1050cm	2月13日 75cm	2月14日 258cm	12月12日	4月9日	119日			
岩沢 (市ノ口) 2	872cm	2月13日 82cm	2月14日 318cm	12月12日	4月14日	124日			
真人南部 (中山)	1209cm	2月13日 81cm	2月14日 306cm	12月12日	4月15日	125日			
真人北部 (市之沢)	1404cm	2月13日 84cm	2月14日 338cm	12月12日	4月16日	126日			
片貝中学校 2	620cm	2月6日 72cm	2月14日 198cm	12月12日	3月30日	109日			
千田中学校 2	625cm	2月6日 60cm	2月14日 218cm	12月12日	3月31日	110日			
消防本部	824cm	2月6日 75cm	2月14日 220cm	12月12日	3月31日	110日			

- 1 自動観測装置による観測のため降雪深及び最大降雪深については、観測不可能。
- 2 各学校及び岩沢観測所については、休校日、土日祝日は観測を実施していない。

過去5年間1月～12月の最高気温調べ

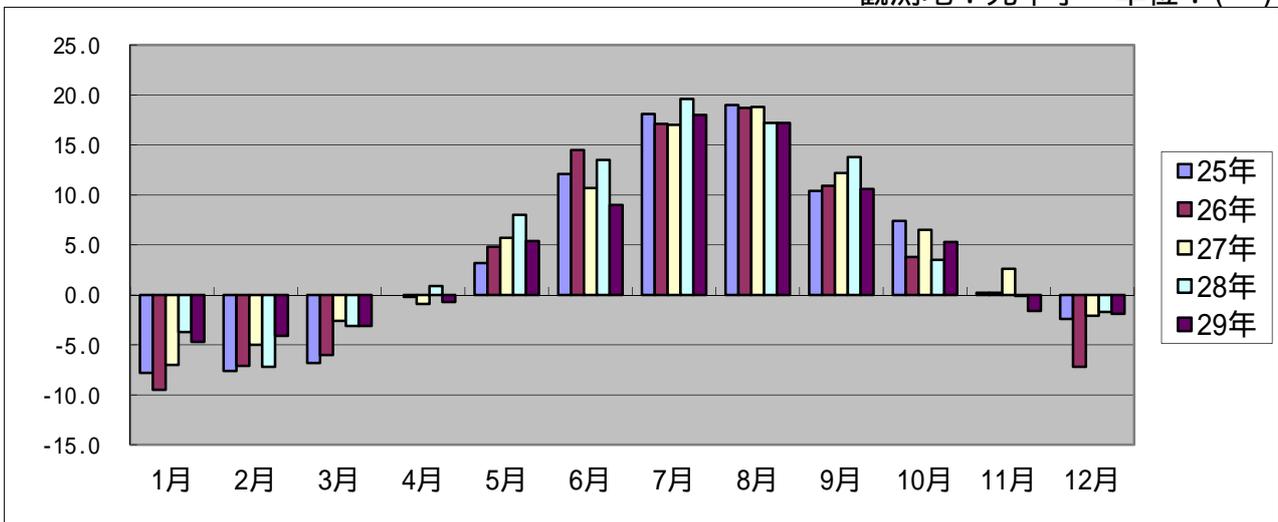
観測地：元中子 単位：( )



年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
25年	6.6	10.2	17.2	23.5	30.7	32.8	33.2	35.0	32.9	32.4	19.2	13.1
26年	9.9	12.0	20.6	24.9	30.8	32.2	37.0	36.1	30.9	28.1	22.5	16.0
27年	6.9	10.6	19.7	28.7	29.7	29.8	37.8	35.6	28.4	26.4	22.4	17.6
28年	12.7	12.9	20.0	27.6	29.9	31.7	32.9	34.8	35.0	28.4	19.3	19.2
29年	10.5	12.3	15.2	26.4	31.0	32.3	35.0	35.8	31.0	26.3	20.7	13.7

過去5年間1月～12月の最低気温調べ

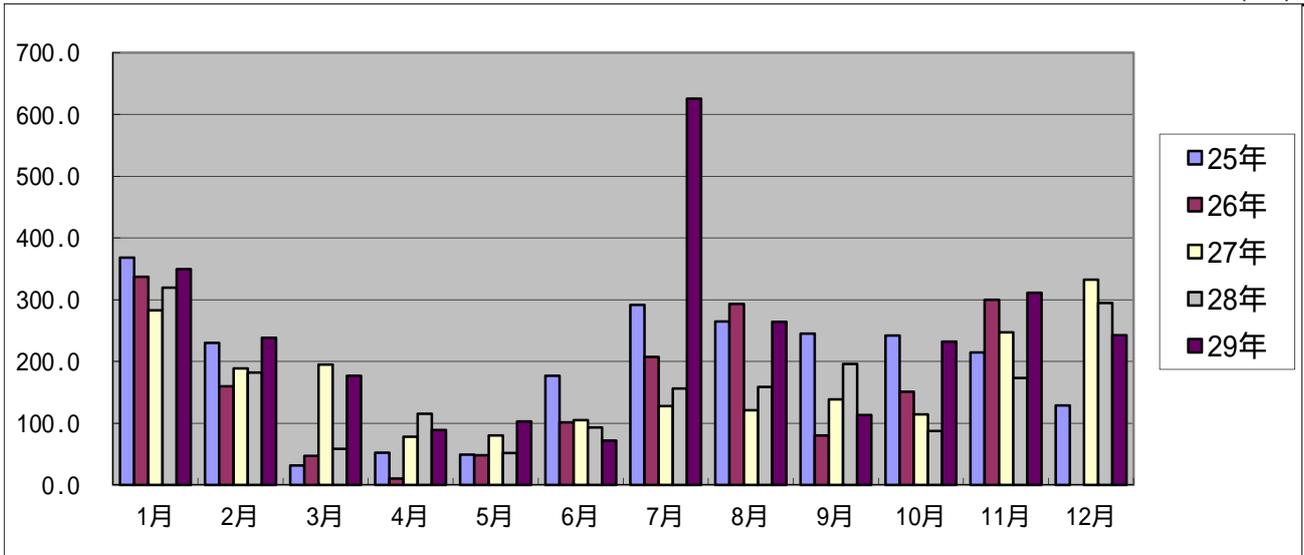
観測地：元中子 単位：( )



年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
25年	-7.8	-7.6	-6.8	0.0	3.2	12.1	18.1	19.0	10.4	7.4	0.2	-2.4
26年	-9.5	-7.1	-6.0	-0.2	4.8	14.5	17.1	18.7	10.9	3.8	0.2	-7.2
27年	-7.0	-5.0	-2.6	-0.9	5.7	10.7	17.0	18.8	12.2	6.5	2.6	-2.1
28年	-3.7	-7.2	-3.1	0.9	8.0	13.5	19.6	17.2	13.8	3.5	-0.1	-1.7
29年	-4.7	-4.1	-3.1	-0.7	5.4	9.0	18.0	17.2	10.6	5.3	-1.6	-1.9

過去5年間1月～12月の降雨量調べ

観測地：元中子 単位：(mm)

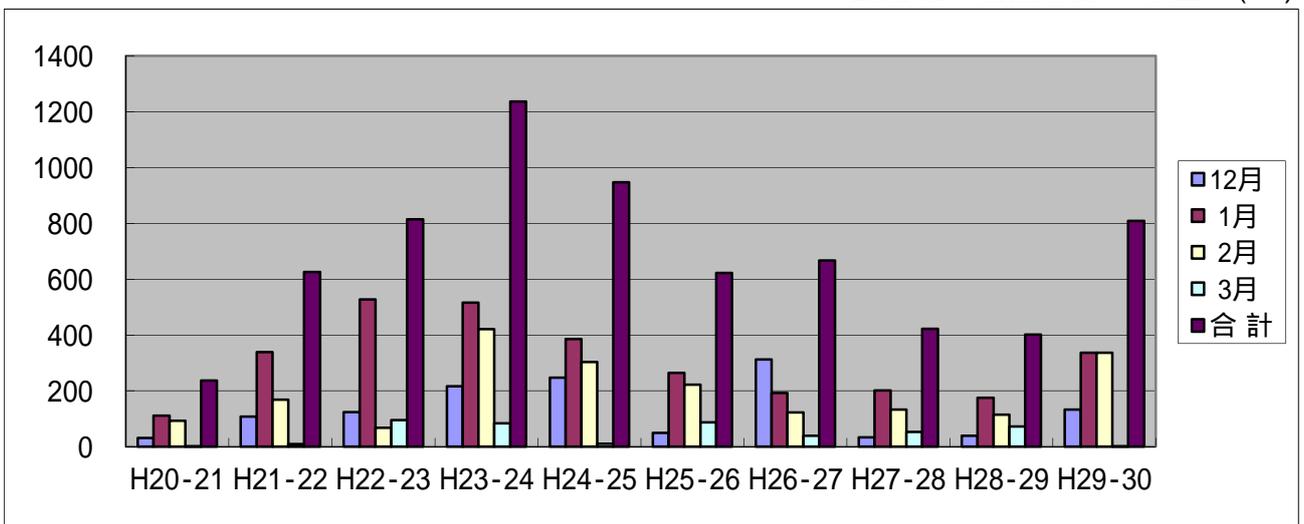


年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
25年	368.0	230.0	31.5	52.5	49.5	177.0	291.5	265.0	245.0	242.0	214.5	129.0
26年	337.0	160.0	47.0	10.5	48.0	101.5	207.5	293.0	80.5	151.0	300.0	欠測
27年	283.0	189.0	195.0	78.0	80.5	105.0	128.0	121.0	138.5	114.5	247.0	332.5
28年	319.5	182.0	58.5	115.5	52.0	93.0	156.5	159.0	196.0	87.5	173.5	295.0
29年	349.5	238.5	177.0	89.0	103.0	72.0	625.5	264.5	113.5	232.5	311.5	242.5

雨量には、雪解け水を含みます。

過去10年間の降雪量調べ

観測地：消防本部 単位：(cm)



年	H20-21	H21-22	H22-23	H23-24	H24-25	H25-26	H26-27	H27-28	H28-29	H29-30
12月	31	108	124	216	247	49	313	34	39	133
1月	111	339	528	516	386	265	192	202	175	337
2月	93	169	68	421	304	222	123	133	115	337
3月	2	10	95	84	11	87	39	53	73	2
合計	237	626	815	1237	948	623	667	422	402	809



預防關係

# 1 防火対象物の現況、防火管理者選任状況

小千谷市

平成30.4.1 現在

防火対象物の別		区 分	防 火 対 象 物 数	防 火 管 理 者 選 任 状 況		消 防 計 画 届 出 数
				必 要 対 象	選 任 届 出 済	
(1)	イ	映 画 館				
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	72	31	29	24
(2)	イ	キャバレー・カフェー				
	ロ	遊 技 場	3	3	3	3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗				
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1	1
(3)	イ	料 理 店	2	2	2	1
	ロ	飲 食 店	43	37	30	24
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	77	43	36	34
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	12	8	8	8
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	182	20	16	15
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所	21	5	5	5
	ロ	老人短期入所施設等	11	10	9	9
	ハ	老人デイサービスセンター等	26	17	17	17
	ニ	幼稚園・特別支援学校	2	1	1	1
(7)		小 ・ 中 ・ 高 ・ 各 種 学 校	39(16)	16	15	15
(8)		図 書 館 等	2	2	2	2
(9)	ロ	公 衆 浴 場				
(10)		車 両 の 停 車 場	1			
(11)		寺 院	31	24	21	7
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	261	29	28	28
(13)	イ	自 動 車 車 庫	32			
(14)		倉 庫	182	1	1	1
(15)		前各項に該当しない事業所	224	28	23	22
(16)	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	181	77	58	57
	ロ	上記(イ)以外の複合用途防火対象物	136	5	5	5
(17)		重 要 文 化 財				
(18)		ア ー ケ ード ( 5 0 m 以 上 )				
合 計			1,541	360	310	279

防火対象物数は棟数。7項( )内は施設数。

防火対象物の数		区分	防火対象物数	防火管理者選任状況		消防計画届出数
				必要対象	選任届出済	
(1)	イ	映画館				
	ロ	公会堂・集会場	16	14	14	14
(2)	イ	キャバレー・カフェー				
	ロ	遊技場				
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗				
	ニ	カラオケボックス等				
(3)	イ	料理店				
	ロ	飲食店	7	6	6	6
(4)		百貨店・マーケット	5	4	4	4
(5)	イ	旅館・ホテル	8	3	3	3
	ロ	寄宿舎・共同住宅	25	2	2	2
(6)	イ	病院・診療所	1			
	ロ	老人短期入所施設等	1	1	1	1
	ハ	老人デイサービスセンター等	3	3	3	3
	ニ	幼稚園・特別支援学校				
(7)		小・中・高・各種学校	2(2)	2	2	2
(8)		図書館	1	1	1	1
(9)	ロ	公衆浴場	1			
(10)		車両の停車場	1			
(11)		寺院	6	6	3	3
(12)	イ	工場・作業場	35	4	4	4
(13)	イ	自動車車庫	4			
(14)		倉庫	20			
(15)		前各項に該当しない事業所	42	4	4	4
(16)	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	22	13	12	12
	ロ	上記(イ)以外の複合用途防火対象物	8	1	1	1
(17)		重要文化財				
(18)		アーケード(50m以上)				
合計			208	64	60	60

防火対象物数は棟数。7項( )内は施設数。

## 2 建築同意事務処理状況

### (1) 過去5年間の処理状況

区分	年別	25年	26年	27年	28年	29年
受付数		78	56	60	57	49
同意数		78	56	60	57	49
不同意数		0	0	0	0	0

### (2) 月別処理状況

平成29.1.1～12.31

区分	年別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
受付数		49	1	1	4	6	5	4	8	7	6	4	2	1
同意数		49	1	1	4	6	5	4	8	7	6	4	2	1
不同意数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (3) 用途地域別 ・ 構造等別

平成29.1.1～12.31

用途地域別 耐火性及び 構造別	計	第一種低層 住居専用	第一種中高層 住居専用	第一種住居	第二種住居	準住居	近隣商業	商業	準工業	工業	その他及び 指定なし
許可申請等及びその他の建築行為*	3										3
準耐火建築物											
耐火建築物	1							1			
木造	21			3		1	1	1	1		14
鉄骨造	24			4					1	3	16
アルミニウム造											
合計	49			7		1	1	2	2	3	33

\* 「許可申請等」とは、確認申請以外の建築基準法による申請等とする。

「その他の建築行為」とは、当該欄以下に計上する新築、増築、改築、移転及び用途変更以外の行為とし、修繕又は模様替え等の行為とする。

- 1 耐火性を有する場合は、耐火性を優先した計上としている。また、構造別は主たる構造で計上している。
- 2 同意1件に対し複数の物件等がある場合は、主たるものを計上している。

## (4) 用途別 ・ 工事別

平成29.1.1～12.31

用途別		工事別						用途変更	許可申請等 及びその他の 建築行為 *
		計	新 築	増 築	改 築	移 転			
防 火 対 象 物	併用住宅								
	共同住宅	1	1						
	事務所	3	2	1					
	学 校								
	車 庫								
	倉 庫	3	3						
	工場・作業場	1		1					
	旅館・ホテル								
	病院・診療所								
	福祉施設								
	神社・寺院・教会								
	集 会 場								
	遊 技 場								
	店 舗	5	4	1					
	飲 食 店								
	その他の事業所等	14	11	1				1	1
防以 火対 象物 外	専用住宅	9	6	1	2				
	そ の 他	13	11		1			1	
合計		49	38	5	3	0	1	2	

\* 「許可申請等」とは、確認申請以外の建築基準法による申請等とする。

「その他の建築行為」とは、当該欄左記に計上する新築、増築、改築、移転及び用途変更以外の行為とし、修繕又は模様替え等の行為とする。

1 用途が住居以外のものは、用途別「その他」に計上している。

2 同意1件に対し複数の物件等がある場合は、主たるものを計上している。

### 3 中高層建築物の現況

平成30.4.1 現在

防火対象物の別		区分	計	4階		5階		6階	7階	8階	9階	10階
				小千谷市	長川岡口地 市域	小千谷市	長川岡口地 市域	小千谷市	小千谷市	小千谷市	小千谷市	小千谷市
(1)	イ	映画館										
	ロ	公会堂・集会場	1	1								
(2)	イ	キャバレー・カフェー										
	ロ	遊技場										
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗										
	ニ	カラオケボックス等										
(3)	イ	料理店										
	ロ	飲食店	1	1								
(4)		百貨店・マーケット										
(5)	イ	旅館・ホテル	6	2	1	2	1					
	ロ	寄宿舎・共同住宅	39	22	2	12	1	1				1
(6)	イ	病院・診療所	1					1				
	ロ	老人短期入所施設等										
	ハ	老人デイサービスセンター等										
	ニ	幼稚園・特別支援学校										
(7)		小・中・高・各種学校	4	4								
(8)		図書館										
(9)	ロ	公衆浴場										
(10)		車両の停車場										
(11)		寺院										
(12)	イ	工場・作業場	11	7		1		2	1			
(13)	イ	自動車車庫										
(14)		倉庫	1	1								
(15)		前各項に該当しない事業所	6	6								
(16)	イ	特定防火対象物の存する 複合用途防火対象物	12	5	1	3		2		1		
	ロ	上記(イ)以外の複合用途 防火対象物	3	2		1						
(17)		重要文化財										
(18)		アーケード(50m以上)										
合計			85	51	4	19	2	6	1	1		1

#### 4 危険物製造所等の地区別施設数及び現年度指定数量別施設数

平成30.3.31 現在

製造所等別 区分		合計	製 造 所								取 扱 所			
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯 蔵 所	屋 内 タンク 貯 蔵 所	地 下 タンク 貯 蔵 所	簡 易 タンク 貯 蔵 所	移 動 タンク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
年 度 別	平成 28年度	小千谷市	174	18	23	6	43	1	26	2	26			29
		長岡市川口地域	31	3	1		13		2		5			7
		合計	205	21	24	6	56	1	28	2	31			36
	指 定 数 量 別 内 訳	5倍以下	81	7	4	1	22	1	28	1	1			16
		5倍を越え10倍以下	51	9	5		20				4			13
		10倍を越え50倍以下	41	4	10	5	12			1	4			5
		50倍を越え100倍以下	9	1			2				6			
		100倍を越え150倍以下	4		1						3			
		150倍を越え200倍以下	6								6			
		200倍を越え1,000倍以下	7								7			
		1,000倍を越え5,000倍以下	6			4 *1								2
		5,000倍を越え10,000倍以下												
		10,000倍を越えるもの												
	平成 29年度	小千谷市	172	18	22	6	42	1	26	2	26			29
		長岡市川口地域	29	2	1		13		2		5			6
		合計	201	20	23	6	55	1	28	2	31			35
		5倍以下	80	6	4	1	22	1	28	1	1			16
		5倍を越え10倍以下	50	9	5		19				4			13
		10倍を越え50倍以下	39	4	9	5	12			1	4			4
50倍を越え100倍以下		9	1			2				6				
100倍を越え150倍以下		4		1						3				
150倍を越え200倍以下		6								6				
200倍を越え1,000倍以下		7								7				
1,000倍を越え5,000倍以下	6			4 *1								2		
5,000倍を越え10,000倍以下														
10,000倍を越えるもの														

\*1 準特定屋外タンクを1基含む。

## 5 危険物製造所等の年間事務処理状況

平成29.4.1～平成30.3.31

製造所等別 区分		合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所
許	設置	3					1		2					
	変更	9					3				5			1
可	移動タンク貯蔵所の常置場所の変更	転出												
		転入	2						2					
完成検査	設置	2							2					
	変更	11					3		2		5			1
廃止届		6		1			2		2					1

## 6 試験・測定資器材

平成30.4.1 現在

名 称	規 格	数 量
自動火災報知設備検査器具	熱式、煙式	各 1 式
テ ス タ ー	デジタルテスター M300	1
超 音 波 厚 さ 計	TI55 . TI - P01	1
ガ ス 検 知 器	北 川 式	1
可 燃 性 ガ ス 検 知 器	F M - I C	1
温 度 計	表面温度計	1
カ メ ラ	火災原因調査用キャノン60D他	2
ポ ー タ ー ス モ ーク	出力10m <sup>3</sup> /分~31m <sup>3</sup> /分	2
レ ー ザ ー レ ン ジ メ ータ	H I L T I P D 3 0	1

## 7 火災概要表

区 分		29年 ( A )	28年 ( B )	比較 ( A - B )
火 災 件 数		11	25	14
種 別	建 物 火 災	4	10	6
	林 野 火 災	1	0	1
	車 両 火 災	1	7	6
	その他の火災	5	8	3
損 害 額 ( 千 円 )		3,358	246,738	243,380
建 物 焼 損 面 積 ( m <sup>2</sup> )		508	2,931	2,423
林 野 焼 損 面 積 ( a )		75	0	75
死 傷 者	死 亡	1	3	2
	負 傷	3	2	1
り 災 世 帯 数		3	6	3
り 災 者 数		8	20	12

出火原因 焼損区分	内 訳 ( 平成29.1.1 ~ 12.31 )												
	枯れ草焼き	残り火の再燃	こんろ	コンデンサ	放火の疑い	不明	調査中						合 計
全 焼						1	1						2
半 焼													
部 分 焼													
ぼ や			1	1									2
林 野	1												1
車 両						1							1
そ の 他	1	1			1	2							5
合 計	2	1	1	1	1	4	1						11

小千谷市

区 分	29年 ( A )	28年 ( B )	比較 ( A - B )	
火 災 件 数	9	19	10	
種 別	建 物 火 災	4	9	5
	林 野 火 災	1	0	1
	車 両 火 災	1	5	4
	その他の火災	3	5	2
損 害 額 ( 千 円 )	3,358	245,692	242,334	
建 物 焼 損 面 積 ( m <sup>2</sup> )	508	2,930	2,422	
林 野 焼 損 面 積 ( a )	75	0	75	
死 傷 者	死 亡	1	3	2
	負 傷	3	1	2
り 災 世 帯 数	3	6	3	
り 災 者 数	8	20	12	

出火原因 焼損区分	内 訳 ( 平成29.1.1 ~ 12.31 )												
	枯れ草焼き	こんろ	コンデンサ	不明	調査中								合 計
全 焼				1	1								2
半 焼													
部 分 焼													
ぼ や		1	1										2
林 野	1												1
車 両				1									1
そ の 他	1			2									3
合 計	2	1	1	4	1								9

長岡市川口地域

区 分		29年 ( A )	28年 ( B )	比較 ( A - B )
火 災 件 数		2	6	4
種 別	建 物 火 災	0	1	1
	林 野 火 災	0	0	0
	車 両 火 災	0	2	2
	その他の火災	2	3	1
損 害 額 ( 千 円 )		0	1,046	1,046
建 物 焼 損 面 積 ( m <sup>2</sup> )		0	1	1
林 野 焼 損 面 積 ( a )		0	0	0
死 傷 者	死 亡	0	0	0
	負 傷	0	1	1
り 災 世 帯 数		0	0	0
り 災 者 数		0	0	0

焼 損 区 分	内 訳 ( 平成29.1.1 ~ 12.31 )												
	出 火 原 因	残 り 火 の 再 燃	放 火 の 疑 い										合 計
全 焼													
半 焼													
部 分 焼													
ぼ や													
林 野													
車 両													
そ の 他	1	1											2
合 計	1	1											2

## 8 過去5年間の火災発生状況

区分	火災件数								焼損面積			損害額(千円)					1件当り建物焼損面積 (㎡)	1件当り建物損害額 (千円)
	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	林野	車両	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	その他 (㎡)	合計	建物	林野	車両	その他		
25年	22	2	0	1	5	0	3	11	215	0	28,995	38,240	28,905	0	9,335	0	27	3,613
26年	18	0	0	2	6	0	1	9	56	0	10,560	14,107	13,782	0	9	316	7	1,723
27年	15	1	1	1	2	0	6	4	129	0	6,517	20,093	19,224	0	788	81	26	3,845
28年	25	5	2	0	3	0	7	8	2,931	0	23,022	246,738	245,166	0	1,572	0	293	24,517
29年	11	2	0	0	2	1	1	5	508	75	1,695	3,358	3,188	0	170	0	127	797

少数点以下は四捨五入

## 9 過去5年間の月別火災発生状況

	25年				26年				27年				28年				29年			
	建物	林野	車両	その他																
1月	1								1										1	
2月					2				1	1		1								
3月	1				2				1			1								
4月	1			1				6		1	1	1			4	1	1			1
5月	1		1	6	1		1	1		1	2	2			1					2
6月	1			3	1			2				2		1	3					2
7月			1		1									1		1				
8月					1					1	1			2		1				
9月			1						1											
10月									1	2		1		1						
11月	1			1																
12月	2											2		2		1				
小計	8		3	11	8		1	9	5		6	4	10		7	8	4	1	1	5
合計	22				18				15				25				11			



敬防關係

# 1 火災・風水害等出動状況

平成29.1.1～12.31

区 分 種 別	消 防 署 (川口出張所を含む)		小 千 谷 市 消 防 団	
	出 動 数	延 人 員	出 動 数	延 人 員
火 災	11	169	8	241
救 急 業 務	1,602	5,161		
救 助 活 動	20	170		
風 水 害 等 の 災 害	6	35		
演 習 ・ 訓 練	76	433	49	1,793
広 報 ・ 指 導	284	967	177	990
警 防 調 査	96	426		
原 因 調 査	9	29		
特 別 警 戒	40	231	13	323
捜 索	6	37	3	50
予 防 査 察	180	470	4	6
誤 報 等	2	23		
そ の 他	1,135	2,376	4	40
合 計	3,467	10,527	258	3,443

警戒出動の出動回数・延人員については「その他」に含んでいます。  
 (警戒出動～自動火災報知機の誤作動による出動、未確認情報による出動、道路上及び河川等に流出した油の処理等)

## 2 消防水利

平成30.4.1 現在

水利 管轄区分	公設水利								
	消火栓			防火水槽・貯水槽					
	地上式	地下式	計	100m <sup>3</sup> 以上	60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> 未満	計
小千谷市	436	331	767	2	12	222	68	55	359
	302	253	555	2	12	222	3	1	240
長岡市 川口地域	96	11	107		2	99	6		107
	76	7	83		2	99	2		103
計	532	342	874	2	14	321	74	55	466
	378	260	638	2	14	321	5	1	343

上段は行政財産数、下段は消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）数。  
平成26年4月1日より「消防水利の基準」の改定に基づき水利数変更。

### 防火水槽・貯水槽のうち、耐震性を有する貯水槽

水利 管轄区分	耐震性貯水槽				
	100m <sup>3</sup> 以上	60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満	計
小千谷市		3	35		38
長岡市 川口地域		1	4		5
計		4	39		43

### 3 消防資器材装備状況

平成30.4.1 現在

名 称	規 格	数 量
ホース	40mm・50mm・65mm	420
可搬式ポンプ	C-1級	2
ジェットシューター	手動式 20ℓ	10
ラビットシューター	エンジン式	3
中継用組立水槽	—	5
高発砲消火装置	東消式	1
LXフォームジェット ラインプロポーションナー	東消式	1
金属探知機	—	2

### 4 水防資材備蓄状況

平成30.4.1 現在

品 名	倉庫名 消防本部	東小千谷防 災備蓄倉庫 (元中子)	小千谷市水防倉庫			合 計
			元 町	川 井	五 辺	
布袋類 (枚)	3,000	5,000	20,000	2,000	20,000	50,000
縄 (kg)	20	6	35	10	17.5	88.5
鉄製杭 (本)	25	30	45	50	30	180
杭木類 (本)			30	30	100	160
鉄線 (kg)	25	25	25	25	25	125
T型マット			1			1
スコップ	30	10	12	12	20	84
かけや	4	2	2	7	2	17
ハンマー	3	2	3	1	2	11
鋸 (のこぎり)	1	1	4	3	1	10
鉋 (なた)	1		2	2	1	6
鎌 (かま)	22	5	8	6	6	47
つるはし	1	2	6	6	7	22
鍬 (くわ)			2	3	1	6
番線カッター	2	1	2	2	2	9
しの	2	2	3	2	2	11
ビニールシート	33	17	9	7	7	73
斧 (おの)	1		3	1	1	6
救命胴衣	34	33	30	10	20	127
ロープ		4				4
むしろ			60			60
一輪車	3		3			6
単管パイプ	10					10
土のう作成器	2					2
砂 (m <sup>3</sup> )	2	1				3

水防資材は危機管理課所管

## 5 消防車両一覧

平成30.4.1 現在

所属	車名	社名	登録番号	ポンプ	排気量	定員	総重量(kg)	年式	級別	登録年月
本部 (消防署)	特殊水槽付消防ポンプ自動車 (小千谷タンク1)	日野	長岡 800 は 1610	長野ポンプ	6,400	6	10,930	2017	A-2	H 29. 1
	消防ポンプ自動車 (小千谷ポンプ1)	日野	長岡 800 す 1654	長野ポンプ	4,000	5	6,475	2015	A-2	H 27. 12
	消防ポンプ自動車 (小千谷ポンプ2)	日野	長岡 800 さ 6680	モリタ	4,000	5	6,105	2007	A-2	H 19. 2
	化学車 (小千谷化学1)	日野	長岡 800 は 877	モリタ	6,400	6	11,370	2009	A-2	H 21. 2
	救助工作車 (小千谷救助1)	日野	長岡 800 は 1016	-	6,400	6	10,880	2010	-	H 22. 12
	梯子車 (小千谷梯子1)	マギルス	長岡 88 や 3040	-	7,680	6	14,940	1996	-	H 8. 3
	高規格救急自動車 (小千谷救急1)	トヨタ	長岡 832 ふ 119	-	2,690	7	3,155	2014	-	H 26. 10
	高規格救急自動車 (小千谷救急2)	トヨタ	長岡 831 ふ 119	-	2,690	7	3,215	2008	-	H 20. 11
	多目的車 (小千谷指令1)	トヨタ	長岡 200 さ 2172	-	2,690	14	2,960	2016	-	H 28. 8
	資機材運搬車 (小千谷指令2)	マツダ	長岡 800 さ 7088	-	2,990	3	4,235	2007	-	H 19. 9
	防火指導車 (小千谷指令3)	スズキ	長岡 880 あ 1151	-	650	4	1,230	2016	-	H 28. 8
	指揮車 (小千谷指令5)	マツダ	長岡 830 に 119	-	2,260	5	1,785	2004	-	H 16. 8
	水槽付消防自動二輪車 (ミストドラゴン1)	ヤマハ	長岡 え 5251	日本機械	249	1	270	2006	-	H 18. 6
	水槽付消防自動二輪車 (ミストドラゴン2)	ヤマハ	長岡 え 5252	日本機械	249	1	270	2006	-	H 18. 6
ポータトレイラー	ミッドウエスト	長岡 800 る 38				750	2002	-	H 14. 7	
川口出張所	消防ポンプ自動車 (川口ポンプ1)	日野	長岡 800 さ 9866	長野ポンプ	4,000	5	6615	2012	A-2	H 24. 11
	高規格救急自動車 (川口救急1)	トヨタ	長岡 832 そ 119	-	2,690	7	3,205	2012	-	H 24. 1
	指令車 (川口指令1)	トヨタ	長岡 800 す 1451	-	1,490	5	2,130	2015	-	H 27. 7

( ) は無線呼出名称。



# 救急救助關係

# 救急関係

## 1 事故種別出場状況

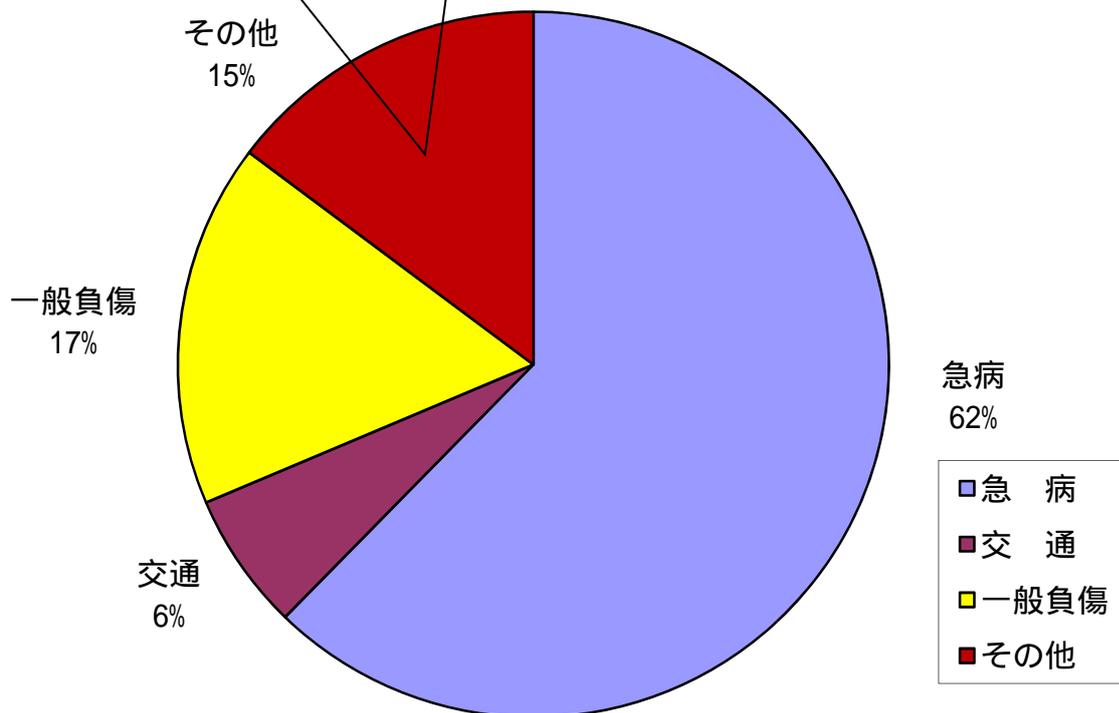
平成29.1.1～12.31

種別 地区別		合	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		計	災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の
			害	災	難	害	害	技	負		行		他
									傷		為		
出 場 件 数	小千谷市	1,389	2		1	80	21	9	230	1	10	853	182
	長岡市川口地域	203		1	1	17	2		35		1	141	5
	高速道路	9				3			2			4	
	管外応援	1				1							
	合計	1,602	2	1	2	101	23	9	267	1	11	998	187
不 搬 送 件 数	小千谷市	108			1	14		1	12		5	73	2
	長岡市川口地域	21		1	1	5			3			10	1
	高速道路	2				1						1	
	管外応援	0											
	合計	131	0	1	2	20	0	1	15	0	5	84	3
搬 送 人 員	小千谷市	1,294	2			76	21	8	220	1	5	780	181
	長岡市川口地域	186				16	2		32		1	131	4
	高速道路	9				4			2			3	
	管外応援	1				1							
	合計	1,490	2	0	0	97	23	8	254	1	6	914	185

## 2 事故種別出場比率

平成29.1.1～12.31

火災	2件 (0.2%)	水難	2件 (0.2%)	労働災害	23件 (1.4%)
運動競技	9件 (0.5%)	加害	1件 (0.1%)	自損行為	11件 (0.7%)
転院搬送	184件 (11.5%)	自然災害	1件 (0.1%)	その他	3件 (0.3%)



(件)

事故種別	合計	急病	交通	一般負傷	その他
出場件数	1,602	998	101	267	236

### 3 地区別出場状況

平成29.1.1～12.31

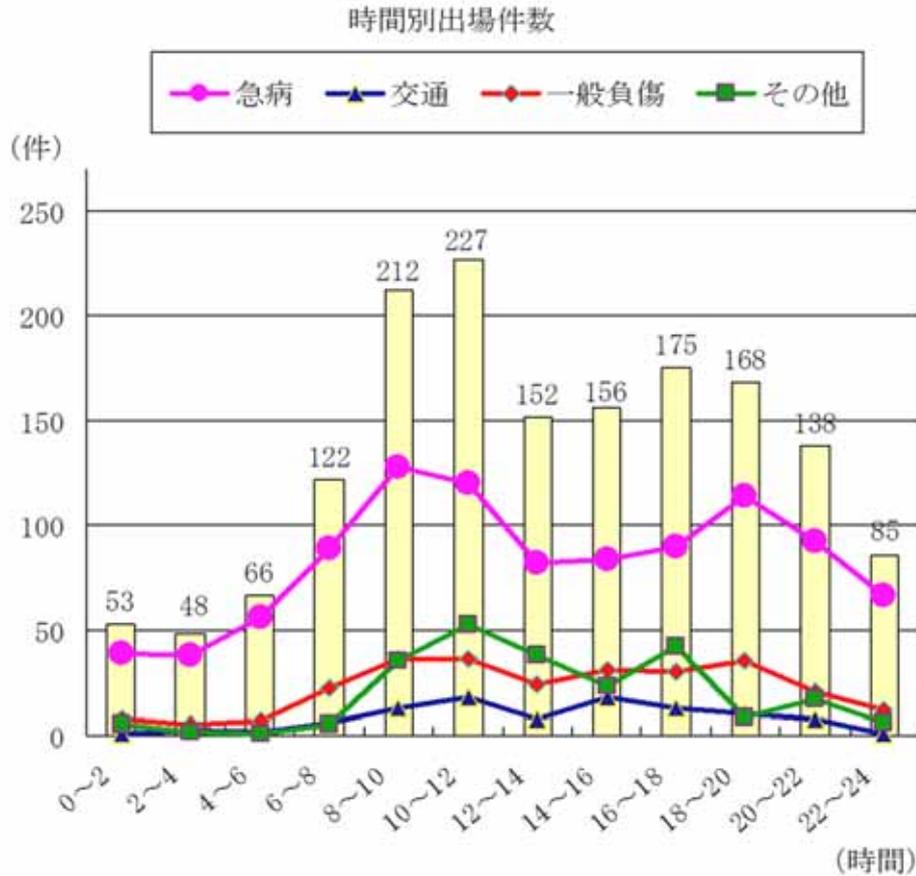
(件)

		合 計	急 病	交 通	一般負傷	そ の 他
小 千 谷 市	城 川	505	237	28	64	176
	西 小 千 谷	214	149	4	35	26
	東 小 千 谷	195	143	6	38	8
	片 貝	122	85	5	25	7
	千 田	119	81	11	22	5
	山 辺	61	43	9	7	2
	吉 谷	48	36	1	10	1
	真 人	46	34	5	6	1
	岩 沢	24	11	6	7	0
	五 辺 ・ 高 梨	23	14	4	5	0
	東 山	16	8	1	7	0
	川 井	16	12	0	4	0
	合 計	1,389	853	80	230	226
長 岡 市 川 口 地 域	西 川 口	53	39	1	9	4
	東 川 口	48	36	2	7	3
	中 山	28	17	5	5	1
	牛 ヶ 島	12	10	0	1	1
	和 南 津	19	12	3	4	0
	相 川	21	14	5	1	1
	田 麦 山	7	4	0	3	0
	荒 谷	2	2	0	0	0
	武 道 窪	4	1	1	2	0
	木 沢	6	5	0	1	0
	峠	3	1	0	2	0
合 計	203	141	17	35	10	
高 速 道 路	関越自動車道上り	6	4	1	1	0
	関越自動車道下り	3	0	2	1	0
	合 計	9	4	3	2	0
管 外 応 援	長 岡 市	1	0	1	0	0
	十 日 町 市	0	0	0	0	0
	魚 沼 市	0	0	0	0	0
	合 計	1	0	1	0	0
合 計		1,602	998	101	267	236

## 4 時間別出場状況

出場件数を時間別で見ると、午前10時から午前12時の227件が最多でした。

平成29.1.1～12.31

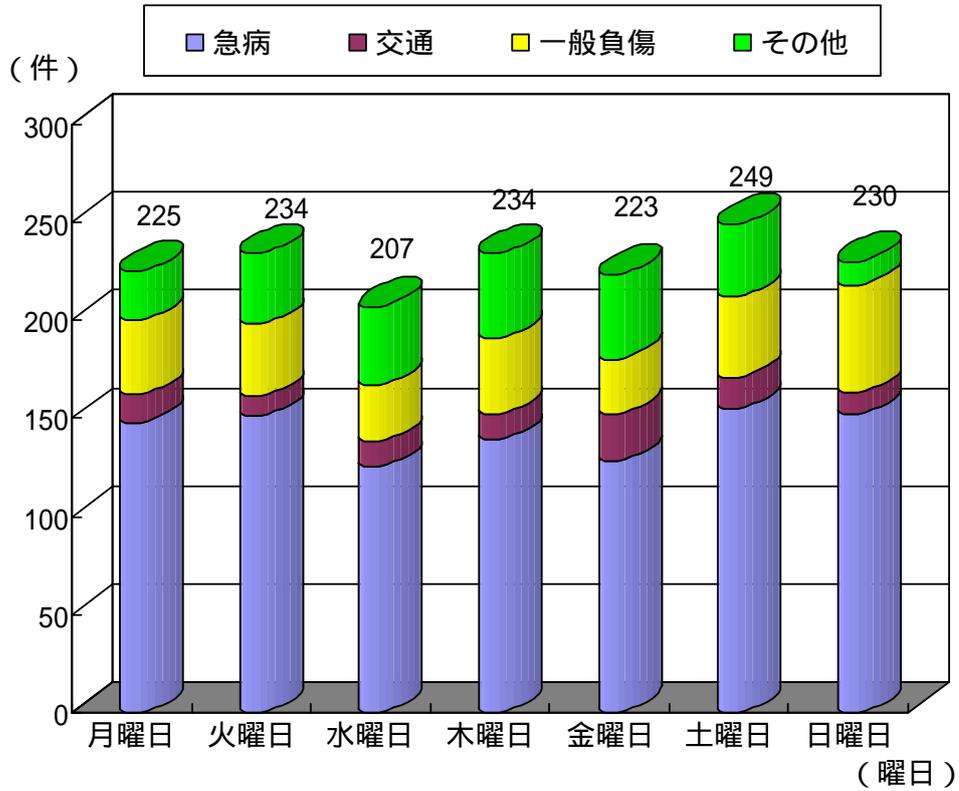


(件)

時間 種別	計	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22
		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
合計	1,602	53	48	66	122	212	227	152	156	175	168	138	85
急病	998	39	38	56	89	128	120	82	84	90	114	92	66
交通	101	1	3	2	6	13	18	8	18	13	10	8	1
一般負傷	267	8	5	7	22	36	36	24	31	30	35	21	12
その他	236	5	2	1	5	35	53	38	23	42	9	17	6

## 5 曜日別出場状況

平成29.1.1～12.31



(件)

曜日 種別	計	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
合計	1,602	225	234	207	234	223	249	230
急病	998	148	151	125	139	128	155	152
交通	101	14	10	13	13	24	16	11
一般負傷	267	38	37	29	39	28	41	55
その他	236	25	36	40	43	43	37	12

## 6 月別出場状況

平成29.1.1～12.31

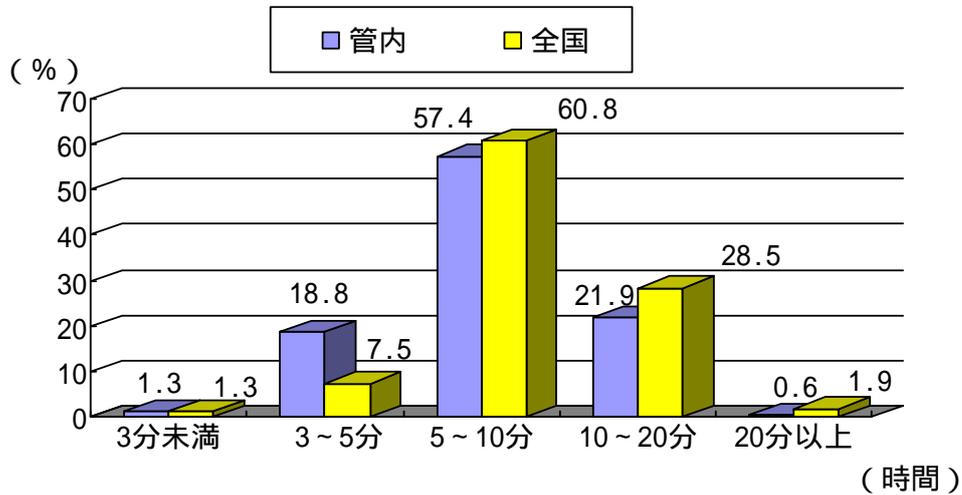
事故種別	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
												転院搬送	その他	
1月	救急出場件数	136			7	1	1	13		1	89	24		
	不搬送件数	8						1		1	6			
	搬送人員	130			9	1	1	12			83	24		
2月	救急出場件数	134			10			17		1	92	14		
	不搬送件数	13			4			1			8			
	搬送人員	122			7			16		1	84	14		
3月	救急出場件数	146			5	2		24		1	101	13		
	不搬送件数	11			2			3			6			
	搬送人員	135			3	2		21		1	95	13		
4月	救急出場件数	131	2		1	6	2	21			83	16		
	不搬送件数	9			1			1			7			
	搬送人員	122	2			6	2	20			76	16		
5月	救急出場件数	123			7	2	1	24		4	73	11	1	
	不搬送件数	12			1			2		2	6		1	
	搬送人員	111			6	2	1	22		2	67	11		
6月	救急出場件数	111			7	4	1	15			69	15		
	不搬送件数	6			1						5			
	搬送人員	106			7	4	1	15			64	15		
7月	救急出場件数	160		1	1	8	1	3	30		2	100	14	
	不搬送件数	13		1	1				2		1	8		
	搬送人員	151				10	1	3	30		1	92	14	
8月	救急出場件数	150			9			1	20			101	18	
	不搬送件数	16			3				2			10	1	
	搬送人員	135			7			1	18			91	18	
9月	救急出場件数	104			11	6	2	17			55	13		
	不搬送件数	13			2			1	1		9			
	搬送人員	93			11	6	1	16			46	13		
10月	救急出場件数	151			17	4		32		1	78	19		
	不搬送件数	11			4			1			6			
	搬送人員	148			20	4		31		1	72	20		
11月	救急出場件数	117			4	1		23			77	12		
	不搬送件数	8			1						7			
	搬送人員	109			3	1		23			70	12		
12月	救急出場件数	139			10			31	1	1	80	15	1	
	不搬送件数	11			2			1		1	6		1	
	搬送人員	128			8			30	1		74	15		
合計	救急出場件数	1,602	2	1	2	101	23	9	267	1	11	998	184	3
	不搬送件数	131		1	2	20		1	15		5	84		3
	搬送人員	1,490	2			97	23	8	254	1	6	914	185	

## 7 現場到着所要時間別出場件数の状況

119番通報を受信してから現場に到着するまでの所要時間は、平均で7.4分でした。

\* 全国平均は8.5分（平成28年版消防白書より）です。

平成29.1.1～12.31



	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上
管内 (%)	1.3	18.8	57.4	21.9	0.6
全国 (%)	1.3	7.5	60.8	28.5	1.9

(件)

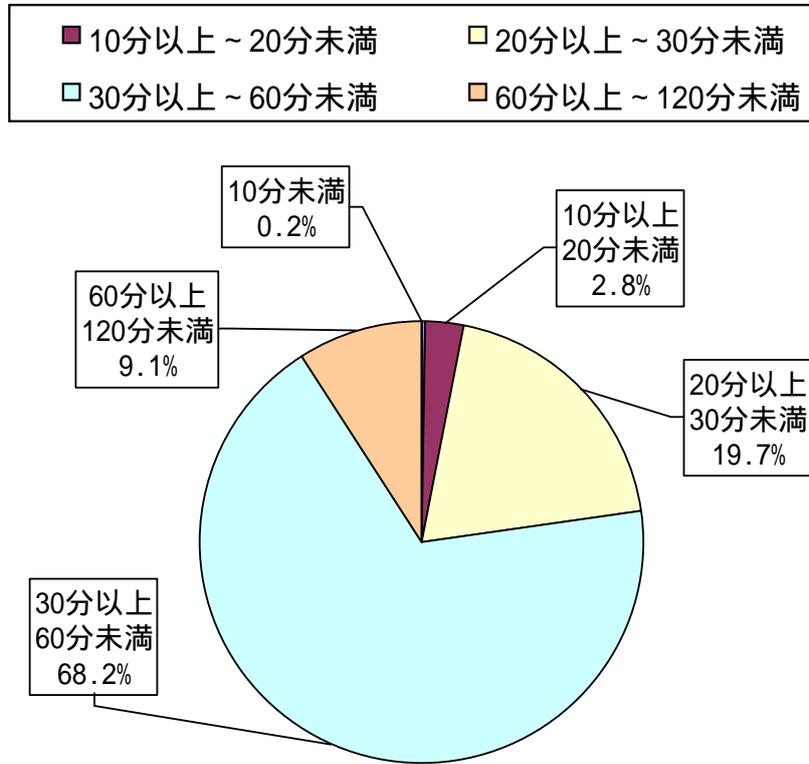
時間 種別		所要時間							
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計	平均 (分)	最高 (分)
件数	急病	10	150	611	220	7	998	7.6	54
	交通	1	10	51	35	4	101	9.3	21
	一般負傷	1	38	150	76	2	267	7.9	22
	その他	9	104	107	15	1	236	5.1	20
合計		21	302	919	346	14	1,602		

## 8 事故種別搬送人員収容所要時間状況

119番通報を受信してから傷病者を医療機関に収容するまでに要した時間は平均で40.5分でした。

\* 全国平均は39.3分（平成28年版消防白書より）です。

平成29.1.1～12.31



(人)

種別	時間	所要時間						合計	平均(分)	最高(分)
		10分未満	10分以上20分未満	20分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上			
搬送人員	急病	1	22	216	610	65		914	39.5	99
	交通		1	9	53	34		97	51.2	113
	一般負傷		3	46	173	32		254	43.1	104
	その他	2	16	22	181	4		225	37.3	84
	合計		3	42	293	1,017	135	0	1,490	

# 9 年齢別・程度別・事故種別搬送人員数

平成29.1.1～12.31  
(人)

年齢区分	事故別 傷病程度	合計	事故種別											
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
新生児	死亡	0												
	重症	0												
	中等症	1												1
	軽症	0												
	その他	0												
	計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
乳幼児	死亡	0												
	重症	0												
	中等症	13							2			6	5	
	軽症	31				3			12			15	1	
	その他	0												
	計	44	0	0	0	3	0	0	14	0	0	21	6	
少年	死亡	0												
	重症	1										1		
	中等症	10				2		2	1			3	2	
	軽症	26				4		2	5		1	14		
	その他	0												
	計	37	0	0	0	6	0	4	6	0	1	18	2	
成人	死亡	7									1	6		
	重症	38				2			2		1	17	16	
	中等症	102				10	6	1	9			45	31	
	軽症	274				51	17	3	36	1	2	161	3	
	その他	0												
	計	421	0	0	0	63	23	4	47	1	4	229	50	
高齢者	死亡	59				2			3		1	52	1	
	重症	192	1			6			36			110	39	
	中等症	377	1			5			56			236	79	
	軽症	359				12			92			248	7	
	その他	0												
	計	987	2	0	0	25	0	0	187	0	1	646	126	
合計	死亡	66	0	0	0	2	0	0	3	0	2	58	1	
	重症	231	1	0	0	8	0	0	38	0	1	128	55	
	中等症	503	1	0	0	17	6	3	68	0	0	290	118	
	軽症	690	0	0	0	70	17	5	145	1	3	438	11	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	1,490	2	0	0	97	23	8	254	1	6	914	185	

年齢区分

新生児：生後28日未満

少年：満7歳以上満18歳未満

高齢者：満65歳以上

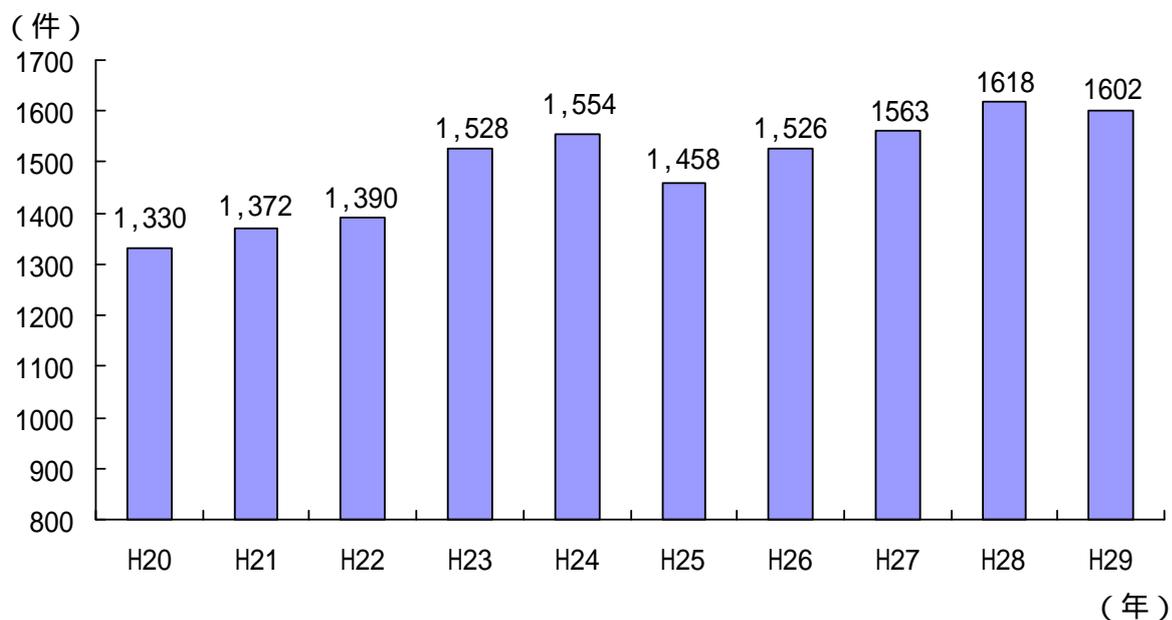
乳幼児：生後28日以上満7歳未満

成人：満18歳以上65歳未満

## 10 過去5年間の事故種別出場状況

事故種別 年		合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
25年	出場件数	1,458	2			124	23	5	283	8	22	791	200
	不搬送	117	1			16			19	1	11	67	2
	搬送人員	1,371	1			134	23	6	264	7	11	727	198
26年	出場件数	1,526	2			123	17	7	258	8	27	866	218
	不搬送	118				14			20		7	72	5
	搬送人員	1,433	2			131	17	7	239	10	20	794	213
27年	出場件数	1,563	1			118	22	8	266	4	17	891	236
	不搬送	121				18	1		16		5	79	2
	搬送人員	1,465	1			122	22	8	250	4	12	812	234
28年	出場件数	1,618	3		2	127	23	10	254	3	24	924	248
	不搬送	126	2			15	1		18	1	11	74	4
	搬送人員	1,504	1		2	122	22	11	236	2	13	851	244
29年	出場件数	1,602	2	1	2	101	23	9	267	1	11	998	187
	不搬送	131		1	2	20		1	15		5	84	3
	搬送人員	1,490	2			97	23	8	254	1	6	914	185

## 1 1 過去10年間の出場件数の推移



## 1 2 搬送人員別医療機関問合せ回数

問合せ回数	1回	2回	3回	4回	5回以上
搬送人員	1,002	190	70	27	16

1 平均問合せ回数は1.37回で、最多問合せ回数は7回でした。

2 転院搬送185人を除く。

## 1 3 転送回数別搬送人員

回数	合計	0回	1回	2回以上
搬送人員	1,490	1,488	2	

1 転送とは、最初の医療機関に収容できず、他の医療機関に収容したものの。

2 転送回数「0回」とは、最初の医療機関に収容したものの。

## 1 4 転送理由別件数

理由	合計	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他
件数	2		1			1		

## 1 5 事故種別収容医療機関状況

搬送人員数1,490人のうち、小千谷市の医療機関に収容した人員は854人で搬送人員数の57.3%（前年57.6%）でした。

平成29.1.1～12.31

(人)

区域	医療機関	合計	急病	交通	一般負傷	その他
小千谷市	告示 小千谷総合病院	138	113	7	16	2
	告示 魚沼病院	67	59	1	3	4
	告示 厚生連小千谷総合病院	599	425	27	115	32
	小千谷さくら病院	1	1			
	山本医院	19	11	2	5	1
	根元整形外科医院	22		7	12	3
	小林整形外科医院	1		1		
	北村医院	1	1			
	谷口医院	1			1	
	大矢医院	1	1			
	かつみ医院	1	1			
	池田内科医院	2	2			
	山下メンタルクリニック	1	1			
長岡市	告示 長岡赤十字病院	229	103	21	47	58
	告示 長岡中央総合病院	208	92	18	30	68
	告示 立川総合病院	167	85	7	24	51
	告示 長岡西病院	6	4			2
	田宮病院	2	1			1
	セントポーリアウイメンズクリニック	1	1			
新潟	告示 新潟大学医歯学総合病院	2		1		1
	告示 新潟県立がんセンター	1	1			
その他	告示 魚沼基幹病院	6	1	4		1
	告示 県立十日町病院	10	8	1	1	
	齋藤記念病院	1	1			
	大島病院	1	1			
	かもしか病院	1				1
	関病院	1	1			
合計		1,490	914	97	254	225

- 1 告示は救急告示病院を示す。
- 2 小千谷総合病院、魚沼病院の数値は統合以前のものを示す。
- 3 厚生連小千谷総合病院の数値は統合後のものを示す。
- 4 谷口医院の数値は名称変更以前のものを示す。
- 5 大矢医院の数値は名称変更後のものを示す。

## 16 署所別出場状況

平成29.1.1～12.31

	合 計	小千谷市消防署	川口出張所
出 場 件 数	1,602件	1,302件	300件
不 搬 送 件 数	131件	98件	33件
搬 送 人 員 数	1,490人	1,218人	272人

## 17 覚知別出場状況

平成29.1.1～12.31

(件)

覚 知 別	119	携帯119	普通電話	駆け込み	その他	自己覚知
件 数	967	346	178	10	97	4

## 18 搬送傷病者居住地状況

平成29.1.1～12.31

(人)

全 搬 送 者 数 1,490			
管 内 居 住 者 1,305		管 外 居 住 者 185	
小 千 谷 市	長 岡 市 川 口 地 域	県 内	県 外
1,129	176	163	22

## 19 発生場所別搬送人員数

平成29.1.1～12.31

(人)

場 所 種 別	計	住 宅	公衆出入場所	仕 事 場	道 路	そ の 他
急 病	914	679	183	19	26	7
交 通	97	3	3	0	91	0
一般負傷	254	171	44	4	27	8
そ の 他	225	5	202	15	1	2
合 計	1,490	858	432	38	145	17

「発生場所」とは、事故等の発生した場所又は傷病者の居た場所をいう。

「住宅」とは、一般住宅及び高層住宅等で住居として使用している場所をいう。

「公衆出入場所」とは、多数の人が集まる場所をいう。

「仕事場」とは、事務所・工場・作業所・各種事業所等の仕事をしている場所をいう。

(上記場所の従業員を含む)

「道路」とは、一般道路・高速道路・交差点・歩道及び歩道橋等をいう。

「その他」とは、上記以外の場所で公園・広場・空地・農地等をいう。なお、発生場所が不明なものを含む。

## 20 応急処置等実施状況

平成29.1.1～12.31

	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
止血	30				5	1		17		1	6	
固定	105				26	6	6	59			3	5
人工呼吸	8										6	2
心マッサージ	0											
心肺蘇生（自動）	34							2		1	31	
心肺蘇生	44				2			3		2	37	
酸素吸入	423	2			17	3	1	20		3	326	51
気道確保	49				2			2		1	43	1
気道確保 * 1	0											
気道確保 * 2	5							1			4	
気道確保 * 3	37				1			3		2	31	
保温	94				5	2		12		1	58	16
被覆	81				19	12		41		1	7	1
在宅療法維持	6							1			5	
ショックパンツ	0											
除細動	2										2	
静脈路確保	40							2		1	37	
薬剤投与	18				1			1			16	
血圧測定	1,355	2			88	21	7	230	1	4	836	166
聴診器による呼吸音等の聴取	648	2			57	3	3	66		2	471	44
血中酸素飽和度の測定	1,385	2			92	22	7	237	1	3	848	173
心電図	1,060	2			54	11	2	116		3	746	126
その他の応急処置	1,339	2			83	15	6	212	1	5	861	154

気道確保のうち \* 1 は経鼻エアウェイ使用、\* 2 は喉頭鏡、鉗子等による異物除去、\* 3 はラリングアルマスク等による気道確保。

## 2 1 救急資器材

名	称
血 圧 計	ネ ッ ク カ ラ ー
血中酸素飽和度測定器	陰 圧 ギ ブ ス
体 温 計	シ ー ネ
ベッドサイドモニタ	終末呼気ガスモニター
聴 診 器	頭 部 固 定 マ ク ラ
スcoopストレッチャー	経 口 エ ア ウ ェ イ
布 担 架	経 鼻 エ ア ウ ェ イ
バックボード一式	ラリングアルチューブ
酸 素 ポ ン ベ	除 細 動 器
バッグバルブマスク	自 動 式 人 工 呼 吸 器
吸 引 器	人 工 心 肺 蘇 生 シ ス テ ム
喉 頭 鏡	血 糖 測 定 器
マギール鉗子	車 両 用 オ ゾ ン 殺 菌 器
ガーグルベース	器 具 用 EOG 滅 菌 器

## 2 2 訓練用資器材

名 称	備 考
レ サ シ ア ン	エピペンスターターキット
C P R マ ネ キ ン	
A E D ト レ ー ナ ー	
蘇生訓練用生体シミュレーター	
気道管理トレーナー	
静脈採血注射モデル 型	

# 救助関係

## 2 3 事故種別、発生場所別救助出動状況

平成29.1.1～12.31

事故種別 発生場所		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	その他 の事故	計
屋内	住居	1			1				1	3
	その他									0
道路	高速道路									0
	その他		12			1				13
水面				1						1
山岳									1	1
その他屋外			1						1	2
計		1	13	1	1	1	0	0	3	20

## 2 4 事故種別、発生場所別救助活動状況

平成29.1.1～12.31

事故種別 発生場所		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	その他 の事故	計
屋内	住居	1								1
	その他									0
道路	高速道路									0
	その他		8							8
水面				1						1
山岳									1	1
その他屋外									1	1
計		1	8	1	0	0	0	0	2	12

## 2 5 事故種別、発生場所別救助人員状況

平成29.1.1～12.31

事故種別 発生場所		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	その他 の事故	計
屋内	住居									0
	その他									0
道路	高速道路									0
	その他		8							8
水面										0
山岳									1	1
その他屋外									1	1
計		0	8	0	0	0	0	0	2	10

## 26 救助資機材

平成30.4.1現在

分類	資機材名称		数量	工作車積載	政令別表
一般救助用器具	かぎ付はしご		3		1
	三連はしご		2		1
	ワイヤーロープはしご		1		1
	空気式救助マット		1		1
	救命索発射銃		1		1
	サバイバースリング・救助用縛帯		1・4		1
	平担架		1		1
	カラビナ	カラビナ	24		1
		スーパーカラビナ	14		1
	滑車	シングル滑車	4		1
ダブル滑車		2		1	
ワイヤー用滑車		4		1	
重量物排除用器具	油圧ジャッキ（油圧ラムシリンダー）		2		1
	大型油圧スプレッダー		2		2
	可搬式ウィンチ（チルホール）		1		1
	ワイヤーロープ		10		1
	マンホール救助器具（ロールグリス）		1		1
	マット型空気ジャッキ一式（エアマイティ）		1		2
切断用器具	大型油圧カッター		2		1
	エンジンカッター		2		1
	ガス溶断機（アークエアー）		1		1
	ガソリン溶断機（バーニングカッター）		1		1
	チェーンソー		2		1
	鉄線カッター		2		1
	空気鋸		1		2
	空気切断機		1		2
破壊用器具	万能斧（RCバール・トップマントビ）		5		1
	ハンマー		1		1
	携帯用コンクリート破壊器具（ストライカー）		1		1
	削岩機		1		2
	ハンマドリル		1		2
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器（MS Aアルティア5）		1		1
	有毒ガス測定器（MS Aアルティア5）		1		1
	酸素濃度測定器（MS Aアルティア5）		1		1
	放射線測定器		2		2
呼吸保護用器具	空気呼吸器	本体	31		1
		空気ボンベ	4.60	42	1
			6.750	28	1
	8.00		2		1
	簡易呼吸器		2		2
送排風機		2		2	

分類	資機材名称	数量	工作車積載	政令別表	
隊員保護用器具	革手袋	8	◎	1	
	耐電手袋	5	◎	1	
	耐電衣	3	◎	2	
	耐電ズボン	3	◎	2	
	耐電長靴	3	◎	2	
	特殊ヘルメット	3	◎	2	
	安全帯	9	◎	1	
	防塵メガネ	5	◎	1	
	携帯警報器（レスキューコール）	5	◎	1	
	防毒マスク	6	◎	1	
	陽圧式化学防護服	3		1	
	耐熱服	3		1	
	放射線防護服（ポケット線量計含む）	6		1	
水難救助用器具	流水救助器具一式	4		1	
	救命胴衣	34	◎	1	
	水中投光器	2		1	
	救命浮環	4		1	
	救命ボート	3		1	
	船外機	3		1	
	水中テレビカメラ	1		1	
山岳救助用器具	登山器具一式	4	◎	1	
	バスケット担架	2	◎	1	
	パーティカルストレッチャー	1	◎	1	
検索用器具	簡易画像探索機	1		1	
その他の救助用器具	投光器一式	発電機	3	◎	2
		投光器	4	◎	1
		三脚	4	◎	1
		コードリール	5	◎	1
	携帯投光器	4	◎	1	
	携帯拡声器	2	◎	1	
	携帯無線機	2	◎	1	
	応急処置用セット	1	◎	1	
	車両移動器具（ゴージャック）	1		1	
	緩降機	2		2	
	その他の携帯救助器具	鉈	1	◎	1
		鎌	2	◎	1
		鋸	1	◎	1
		剣スコップ	2	◎	1
		角スコップ	2	◎	1
		大斧	1	◎	1
		つるはし	1	◎	1
		掛矢	1	◎	1
		とび口	2	◎	1
		バール大	2	◎	1
バール小	2	◎	1		
ロープ登降機（ユマール）	3	◎	2		

※ 政令別表を基に、災害活動用として救助隊が管理する資機材を掲載したもの。

※ 空欄については、資器材庫及び倉庫にて保管。

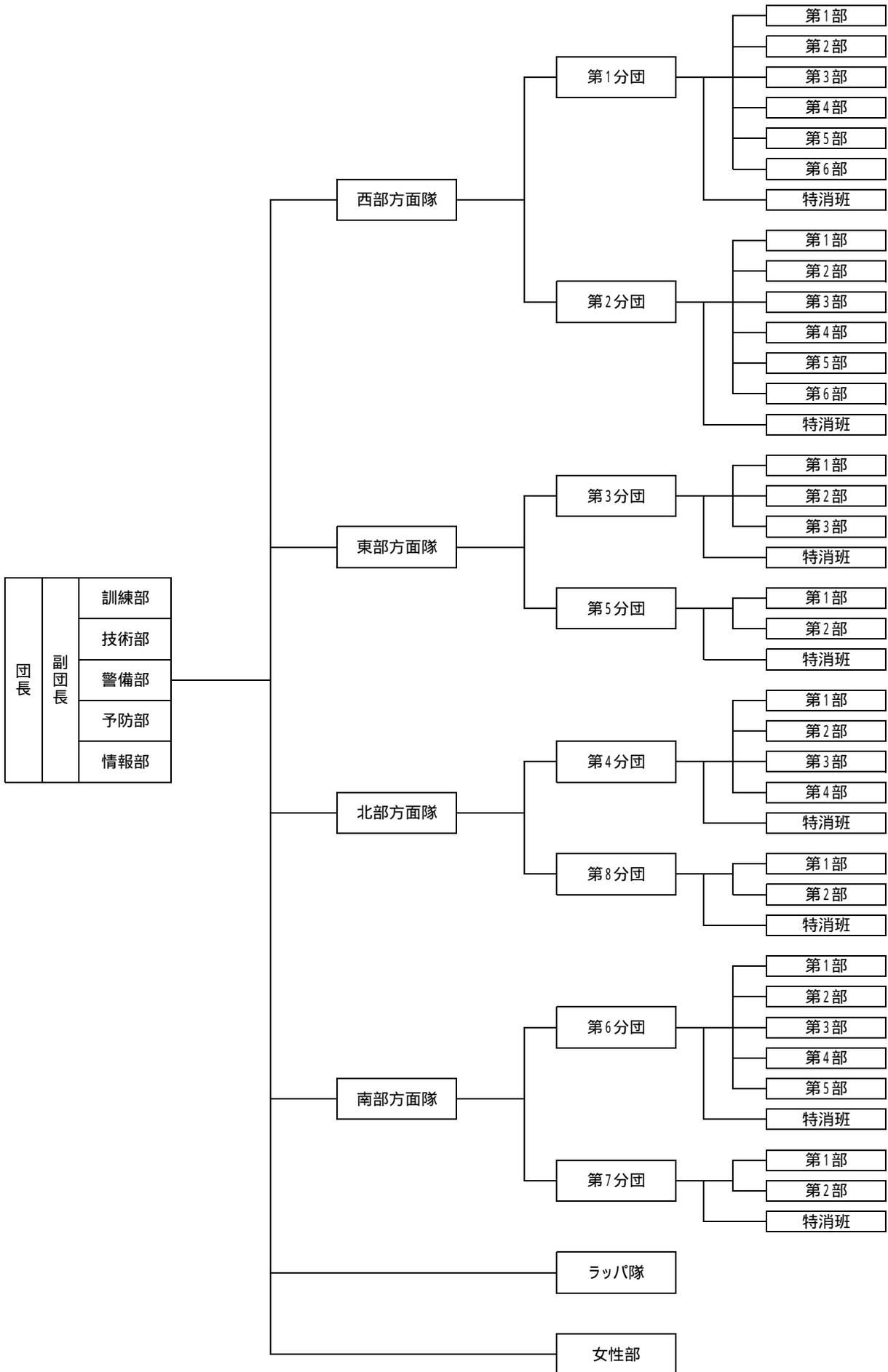


消防團關係

# 1 消防団組織図

小千谷市消防団

平成30.4.1 現在



## 2 歴代消防団長

平成30.4.1 現在

区分	氏名	在任期間	備考	
小千谷市	初	長井 与兵衛	S 14. 4. 1 ~ S 15. 8. 8	小千谷町警防団長
	2	五十嵐 原 治	S 15. 11. 20 ~ S 17. 12. 25	"
	3	長谷川 長 松	S 17. 12. 26 ~ S 20. 9. 15	"
	4	中島 福 治	S 21. 5. 16 ~ S 22. 8. 24	
	5	濁川 勇 蔵	S 22. 8. 25 ~ S 30. 5. 13	
	6	山谷 久 六	S 30. 5. 23 ~ S 36. 7. 7	
	7	星野 利 祐	S 36. 7. 8 ~ S 47. 4. 30	
	8	風間 三太郎	S 47. 5. 1 ~ S 54. 4. 1	
	9	吉岡 昭 和	S 54. 4. 2 ~ S 62. 4. 1	
	10	石田 英一郎	S 62. 4. 2 ~ H 62. 9. 3	
	11	岡村 寅 雄	S 62. 10. 1 ~ H 5. 3. 31	
	12	山岸 俊 夫	H 5. 4. 1 ~ H 9. 3. 31	
	13	岩淵 賢 次	H 9. 4. 1 ~ H 15. 3. 31	
	14	大平 和 芳	H 15. 4. 1 ~ H 19. 3. 31	
	15	金子 正 男	H 19. 4. 1 ~ H 23. 3. 31	
	16	本田 剛	H 23. 4. 1 ~ H 27. 3. 31	
	17	富井 正 志	H 27. 4. 1 ~ 現在に至る	

### 3 消防団の編成

平成30.4.1 現在

市	区分	団 数	方面隊数	分 団 数	部 数
小千谷市		1	4	8	30

### 4 消防団員の数

平成30.4.1 現在

市	区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
小千谷市	定 員	1	3	21	22	57	190	456	750
	現 員	1	2	15	24	51	172	412	677
	うち女性	—	—	1	1	1	2	10	15

### 5 消防団員の階級別報酬

平成30.4.1 現在  
(単位：円)

市	区 分	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
小千谷市		97,000	67,500	48,500	36,000	31,000	24,000	21,500

### 6 消防団員の費用弁償

平成30.4.1 現在  
(単位：円)

市	区 分	災 害 又 は 警 戒 出 動			演習訓練等
小千谷市	1 回 当 り の 出 動 手 当	4時間以内	4時間を超え 6時間迄	6時間を超え 8時間迄	2,000
		2,000	2,500	3,000	

## 7 消防車両・小型動力ポンプ配置一覧

平成30.4.1 現在

所 分団	属 部	配 置 先	車 両 種 別	車両登録 年 月	ポン プ メー カー	ポン プ 級 別	ポン プ 配 置 年 月
	2	船 岡	消防ポンプ自動車	H12. 7	モリタ	A - 2	H12. 7
	3	山 本	積載車	H27. 10	シバウラ	B - 3	H27. 11
	4	上片貝	軽積載車 型 <small>1参照</small>	H20. 11	トーハツ	B - 3	H20. 11
	5	打 越	積載車	H25. 11	トーハツ	B - 3	H25. 11
		四ツ子(高畑)	軽積載車 型 <small>1参照</small>	H15. 3	トーハツ	B - 3	H 5. 12
	6	二 俣	積載車	H11. 11	トーハツ	B - 3	H11. 12
2	1	土 川	消防ポンプ自動車	H 29. 11	日本機械工業	A - 2	H29. 11
	2	時 水	積載車	H26. 9	トーハツ	B - 3	H26. 10
	3	千谷川	積載車	H13. 12	トーハツ	B - 3	H13. 12
	4	平 沢	特装車	H10. 12	トーハツ	B - 3	H10. 12
	5	桜 町	積載車	H28. 9	トーハツ	B - 3	H28. 10
	6	山 谷	軽積載車 型 <small>1参照</small>	H18. 9	ラビット	B - 3	H18. 9
3	1	東 栄	消防ポンプ自動車	H 7. 11	モリタ	A - 2	H 7. 11
			軽積載車 型 <small>1参照</small>	H21. 10	シバウラ	B - 3	H21. 10
	2	菫 生	積載車	H 8. 12	トーハツ	B - 3	H 8. 12
	3	木 津	積載車	H23. 10	シバウラ	B - 3	H23. 11
4	1	千 谷	積載車	H21. 10	トーハツ	B - 3	H18. 9
	2	小栗田	特装車	H 9. 12	トーハツ	B - 3	H 9. 12
	3	三仏生	積載車	H 29. 11	シバウラ	B - 3	H29. 11
	4	五 辺	消防ポンプ自動車 <small>3参照</small>	H23. 5	日本機械工業	A - 2	H23. 5
5	1	浦 柄	積載車	H27. 10	シバウラ	B - 3	H27. 11
	2	岩間木	軽積載車 <small>2参照</small>	H26. 2	ラビット	B - 2	H26. 3
		塩 谷	軽積載車 型 <small>1参照</small>	H20. 11	トーハツ	B - 3	H20. 11
6	1	千 三	消防ポンプ自動車	H 7. 11	モリタ	A - 2	H 7. 11
			軽積載車 型 <small>1参照</small>	H16. 11	トーハツ	B - 3	H 4. 12
	2	芋 坂	特装車	H 9. 12	トーハツ	B - 3	H 9. 12
	3	塩 殿	積載車	H12. 4	トーハツ	B - 3	H12. 4
	4	池ヶ原	特装車	H12. 4	トーハツ	B - 3	H12. 4
	5	若 栃	軽積載車 型 <small>1参照</small>	H16. 11	トーハツ	B - 3	H 6. 12
7	1	川井新田	積載車	H25. 11	シバウラ	B - 3	H25. 12
		内ヶ巻	軽積載車 型 <small>1参照</small>	H19. 9	シバウラ	B - 3	H19. 10
		冬井(戸屋・冬井・大崩)	軽積載車 型 <small>1参照</small>	H15. 3	トーハツ	B - 3	H 8. 2
	2	桂	消防ポンプ自動車	H 8. 3	モリタ	A - 2	H 8. 12
		市ノ口	軽積載車 型 <small>1参照</small>	H22. 11	トーハツ	B - 3	H22. 11
8	1	屋敷(一之町)	積載車	H24. 10	トーハツ	B - 3	H24. 11
		屋敷(二之町)	消防ポンプ自動車	H 6. 12	モリタ	A - 2	H 6. 12
		鴻 巣	軽積載車 型 <small>1参照</small>	H16. 2	トーハツ	B - 3	H 8. 12
	2	屋敷(三之町)	軽積載車 型 <small>1参照</small>	H23. 10	シバウラ	B - 3	H23. 11
		池 津	軽積載車 型 <small>1参照</small>	H16. 2	トーハツ	B - 3	H 2. 10
団本部	消防本部		司令車	H18. 2			
			指揮広報車	H26. 10			

1 型はバンタイプ、 型は軽トラックタイプの積載車を示す。

2 総務省消防庁無償貸与車両を示す。

3 国分寺市からの寄贈車両を示し、車両登録年月欄は寄贈後の登録年月を記載する。

## 8 消防団無線設備

デジタル無線陸上移動局

平成30.4.1 現在

呼出名称	活動波1	活動波2	主運用波	統制波			配置場所	出力(W)	製造年
				1	2	3			
おぢやしょうぼうだんしき 1							現場指揮本部	10	H25
おぢやしょうぼうだん 1							団本部司令車	10	H25
おぢやしょうぼうだん 11							1-1(上ノ山)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 12							1-2(船岡P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 13							1-3(山本)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 14							1-4(上片貝)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 15							1-5(打越)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 16							1-5(高畑)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 17							1-6(二俣)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 21							2-1(土川P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 22							2-2(時水)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 23							2-3(千谷川)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 24							2-4(平沢)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 25							2-5(桜町P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 26							2-6(山谷)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 31							3-1(東栄P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 32							3-1(東栄)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 33							3-2(蕨生)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 34							3-3(木津)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 41							4-1(千谷)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 42							4-2(小栗田)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 43							4-3(三仏生)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 44							4-4(五辺P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 51							5-1(浦柄)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 52							5-2(岩間木)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 53							5-2(塩谷)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 61							6-1(干三P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 62							6-2(本村)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 63							6-3(芋坂)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 64							6-4(塩殿)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 65							6-5(池ヶ原)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 67							6-6(若栃)	10	H25

呼出名称	活動波1	活動波2	主運用波	統制波			配置場所	出力(W)	製造年
				1	2	3			
おぢやしょうぼうだん 7 1							7 - 1 (川井)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 7 2							7 - 1 (内ヶ巻)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 7 3							7 - 1 (冬井)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 7 4							7 - 2 (桂P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 7 5							7 - 2 (市ノ口)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 8 1							8 - 1 (片貝P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 8 2							8 - 1 (片貝)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 8 3							8 - 2 (鴻巣)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 8 4							8 - 3 (片貝)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 8 5							8 - 4 (池津)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 2 0 1							団 長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 0 2							副 団 長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 0 3							副 団 長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 0 4							指令室管理	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 0 5							西部方面隊長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 0 6							東部方面隊長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 0 7							南部方面隊長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 0 8							北部方面隊長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 0 9							本 団 員	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 1 0							本 団 員	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 1 1							本 団 員	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 1 2							本 団 員	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 1 3							指令室管理	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 1 4							指令室管理	5	H25
おぢやしょうぼうだん 2 1 5							指令室管理	5	H25
おぢやしょうぼうだん 4 5							指令室管理	10	H25
おぢやしょうぼうだん 6 6							指揮広報車	10	H25

現場指揮簡易基地局	10W	1台
車載無線機	10W	43台
携帯無線機	5W	15台

## 9 消防器具置場等施設の数

平成30.4.1 現在

分 団 施 設	1	2	3	4	5	6	7	8	計
消防器具置場	7	6	3	4	3	6	5	3	37
ホース乾燥柱	7	6	3	5	6	9	6	3	45
火の見櫓	1					1			2
モーターサイレン	7	7	4	6	8	14	8	3	57

1 消防器具置場欄は、活動拠点として車両保管に使用したものを計上する。

2 モーターサイレン欄は、ホース乾燥柱、火の見櫓及び集会所等に取り付けたものの合算を計上する。

## 10 平成29年度中の主な工事等の状況

### 設置・撤去等工事

工事番号	工 事 名	数	場 所
消警工第1号	平成防火水槽撤去工事	1基	2 - 1 平成 1
消警工第2号	木津防火水槽撤去工事	1基	3 - 3 木 津
消警工第3号	旧片貝一之町消防器具置場解体撤去工事	1棟	8 - 1 片貝一之町

### 修繕工事

工事番号	工 事 名	数	場 所
消警修第1号	大崩消防器具置場電気修繕	1棟	7 - 1 大 崩
消警修第2号	芹久保消防器具置場電気修繕	1棟	6 - 5 芹 久 保
消警修第3号	山新田消防器具置場電気修繕	1棟	6 - 5 山 新 田
消警修第4号	大崩自然圧消火栓修繕工事	1基	7 - 1 大 崩
消警修第5号	大崩自然圧消火栓配管修繕工事	1基	7 - 1 大 崩
消警修第6号	大崩自然圧消火栓配管修繕工事	1基	7 - 1 大 崩
消警修第7号	消防団積載車車体修繕工事	1台	1 - 1 上ノ山
消警修第8号	高畑消防器具置場モーターサイレン取付修繕工事	1台	1 - 5 高 畑

次頁に続く

前項の続き

工事番号	工 事 名	数	場 所
消警修第9号	本村消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	6 - 1 本村
消警修第10号	本村消防器具置場E-ターサイソ点検修繕工事	1台	6 - 1 本村
消警修第11号	岩間木消防器具置場E-ターサイソ点検修繕工事	1台	5 - 2 岩間木
	小栗田消防器具置場赤色灯センサ-修繕工事	1棟	4 - 2 小栗田



協力団体

# 1 小千谷地域防火管理協会

## 1 設 立

昭和40年 7月12日 ~ 昭和55年 3月31日 小千谷市防火管理協会  
 昭和55年 4月 1日 ~ 現在に至る 小千谷地域防火管理協会

## 2 組織・機構



## 3 主たる事業

- (1) 消防機関と自衛消防隊との連携に関する事。
- (2) 関係法令等の周知徹底に関する事。
- (3) 防火思想の普及高揚に関する事。
- (4) 火災原因等防火情報の交換に関する事。
- (5) 消防訓練及び講習に関する事。
- (6) 防火管理者の教育に関する事。
- (7) 消防計画の研究に関する事。
- (8) 消防功労者の表彰に関する事。
- (9) その他、本会の目的達成に必要な事業

4 会員数 186事業所 (平成30年4月1日現在)

## 2 新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

### 1 設 立

昭和35年 6月 6日 ~ 平成18年 3月31日

(財)新潟県危険物安全協会北魚沼地区支会

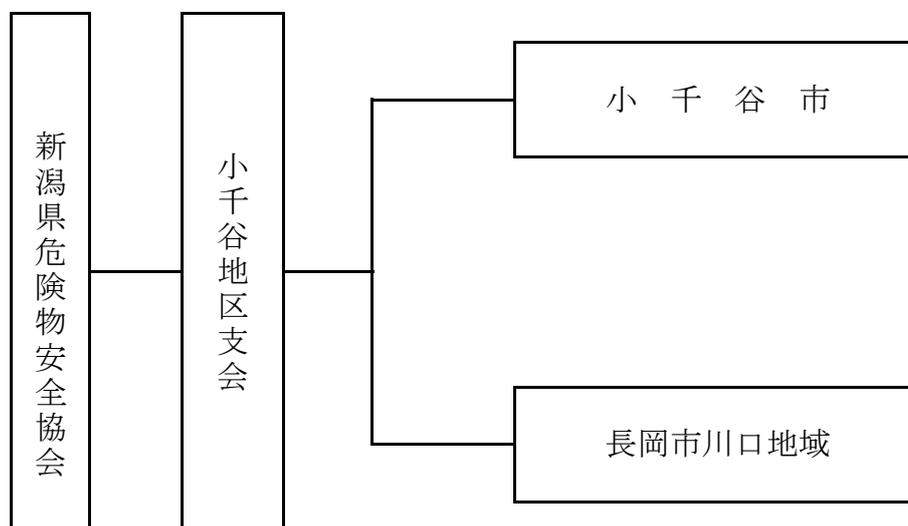
平成18年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日

(財)新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

平成25年 4月 1日 ~ 現在に至る

新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

### 2 組織・機構



### 3 主たる事業

- (1) 危険物の災害予防思想の普及徹底に関すること。
- (2) 危険物の安全な取扱い及び維持管理の研究に関すること。
- (3) 危険物の取扱いに関する各種講習会の実施に関すること。
- (4) 機関誌及び資料の発行に関すること。
- (5) 優良会員等の表彰に関すること。
- (6) その他目標達成に必要な事項

### 4 会員数

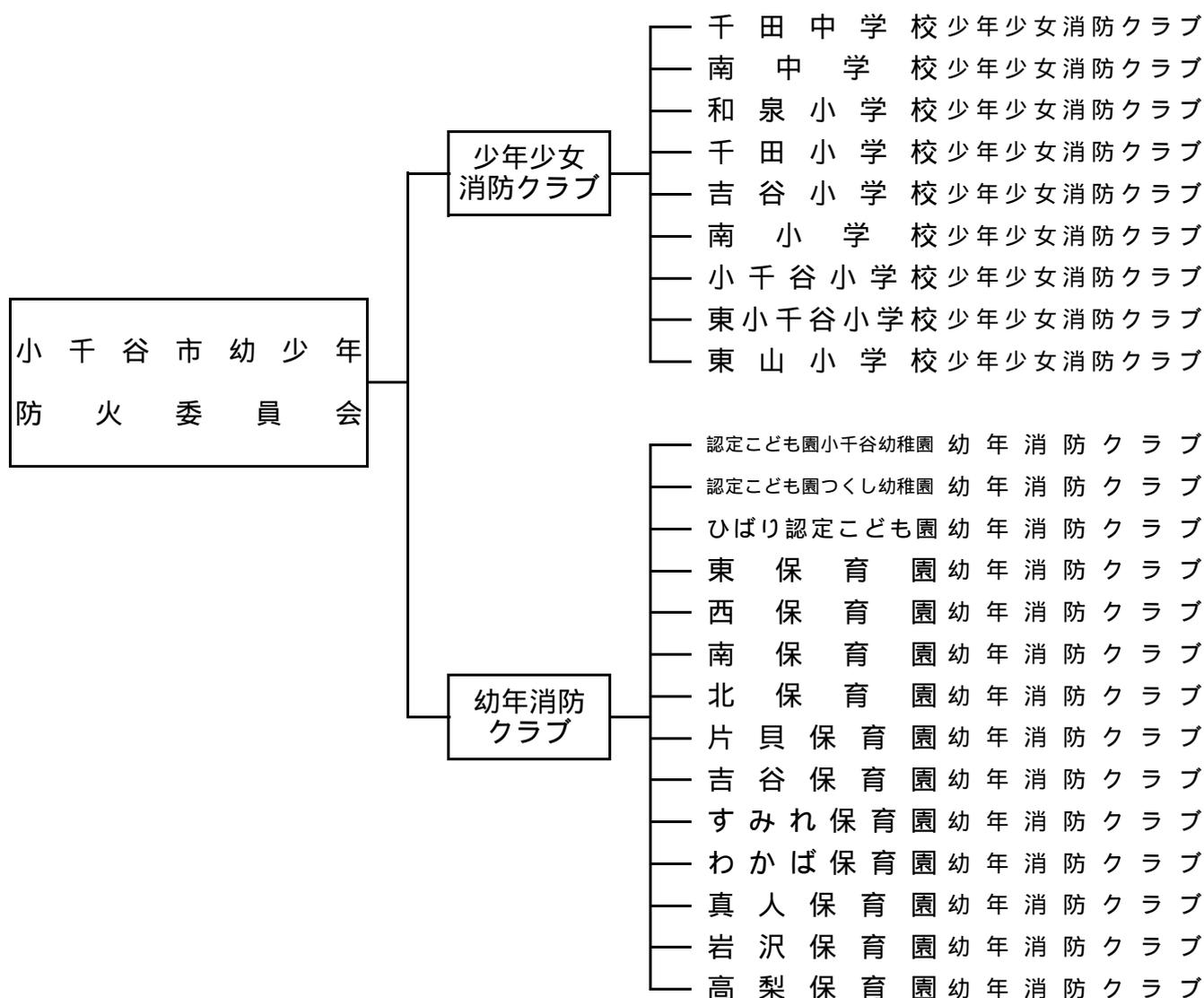
76事業所（平成30年4月1日現在）

### 3 小千谷市幼少年防火委員会

#### 1 経過

昭和56年10月13日	小千谷地域少年消防クラブ、小千谷地域婦人防火クラブ設立
昭和57年7月15日	上記2クラブを統合し、小千谷地域少年婦人防火委員会設立
昭和59年5月16日	小千谷地域幼年消防クラブ設立
平成10年5月15日	小千谷地域幼年消防クラブを統合し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会へ名称変更
平成14年9月27日	会則を変更し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会のクラブ組織一本化
平成22年8月4日	会則を一部改正し、小千谷市幼少年防火委員会に組織を変更
平成25年4月1日	岩沢小学校、真人小学校、川井小学校、塩殿小学校が南小学校に統廃合される

#### 2 組織・機構



### 3 主たる事業

- ・ 小千谷市幼少年防火委員会
  - ア 防火防災知識の普及徹底
  - イ 防火防災のための研修及び訓練
  - ウ 各クラブ等関係組織相互間の連絡・調整
  - エ 事業所研修
  - オ 消防フェスティバルの参加・協力
  - カ その他本会の目的達成に必要な事項
  
- ・ 小千谷市少年少女消防クラブ
  - ア クラブの運営指導の研究に関する事項
  - イ クラブの育成指導に関する事項
  - ウ クラブの情報交換に関する事項
  - エ 外部との連絡に関する事項
  - オ その他本会の目的達成に必要な事項
  
- ・ 小千谷市幼年消防クラブ
  - ア クラブの運営指導の研究に関する事項
  - イ クラブの育成指導に関する事項
  - ウ クラブの情報交換に関する事項
  - エ 外部との連絡に関する事項
  - オ その他本会の目的達成に必要な事項

### 4 会員数 (平成30年4月1日現在)

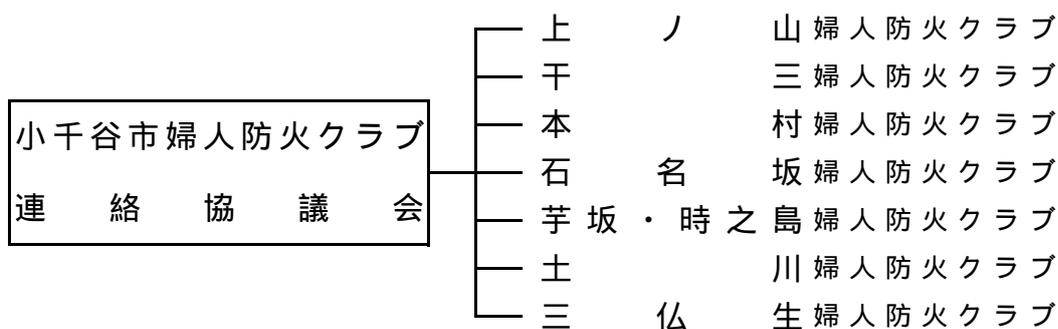
- ・ 小千谷市少年少女消防クラブ 1,706名
- ・ 小千谷市幼年消防クラブ 553名

## 4 小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会

### 1 経過

昭和56年10月13日	小千谷地域少年消防クラブ、小千谷地域婦人防火クラブ設立
昭和57年7月15日	上記2クラブを統合し、小千谷地域少年婦人防火委員会設立
昭和59年5月16日	小千谷地域幼年消防クラブ設立
平成10年5月15日	小千谷地域幼年消防クラブを統合し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会へ名称変更
平成14年9月27日	会則を変更し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会のクラブ組織一本化
平成21年4月1日	小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会設立
平成22年8月4日	会則の一部改正

### 2 組織・機構



### 3 主たる事業

- ア クラブの運営指導の研究に関する事項
- イ クラブの育成指導に関する事項
- ウ クラブの情報交換に関する事項
- エ クラブ等の未設置区域の解消及び組織の拡大・強化
- オ 外部との連絡に関する事項
- カ その他本会の目的達成に必要な事項

### 4 会員数 (平成30年4月1日現在)

- ・ 小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会 115名

# 消 防 年 報

(平成29年版)

発行 新潟県小千谷市消防本部

〒947-0028

新潟県小千谷市城内3丁目1番9号

TEL (0258) 81-0119

FAX (0258) 82-0209